

4. プロジェクトの実績

日本側投入実績については、調査団派遣実績（表1）、専門家派遣実績（表2）、研修員受入実績（表3）、供与機材実績（表4）にそれぞれ表示した。

4-1-1 調査団派遣計画と実績

調査団については、各年ごとに1回、プロジェクトの進捗状況の把握、問題点の調整のため、派遣した。

本プロジェクトは、日中両国が始めて行なう大型のプロジェクト方式の技術協力であったため、中国側が本件協力のスキームを十分に了知していないこともあり、計画上の調査団派遣に加え、計画打合せ的性格として専門家チームによる調査団を派遣し、その補強を行なった。

第二期の協力（昭和59年10月22日～平成元年10月21日）においては、「中日友好病院」も完成し、長期専門家が派遣されプロジェクト運営が円慢になってきたことから、当初計画通り、年1回の派遣にて十分対応できるようになった。

4-1-2 専門家派遣実績

プロジェクトの初期においては、中日友好病院が建設途中であったため、短期専門家派遣による医療講演を主として実施してきた。昭和59年10月22日以後の協力においては、長期専門家を含む臨床・研究及び病院管理分野等に対し、長期専門家をのべ28名、短期専門家をのべ72名を派遣している。それぞれの具体的名前および担当分野は表-2のとおりとなる。

4-1-3 研修員受入れ実績

日本で技術研修を受けたカウンターパートは、臨床各科室・研究所・衛生学校等、関係部門の主任（医表相当）クラスの人材からのべ187名を受入れている。具体的氏名等は表-3のとおりとなる。

4-1-3 供与機材実績

本病院は、わが国の無償資金協力により医療機器が大量に供与されているため、本件協力においては、これらの機器を使用するとともにその不足分を供与機材として、表-3のとおり供与した。

協力当初の病院建設前においては、短期専門家による医療講演が主であったことから、講演時に必要な小規模の機材を供与することとし、専門家携行機材にて対応した。

本院開院後は、無償資金協力にて供与された機器を活用し、技術指導時に必要な消耗品およびスペアパーツを重点に行ない加えて、一部臨床並びに研究用医療機器を供与した。

具体的機材内容は、表－４のとおり。

表－１ 調査団派遣実績

☆基礎調査団 昭和５５年３月７日～３月１５日（９日間）

編 成

団長	本間三郎（生理学）	千葉大学医学部生理学教授
団員	佐分利輝彦（公衆衛生）	病院管理研究所所長
〃	市川和孝（薬務行政）	厚生省薬務局企画課
〃	安達勇（ガン対策）	国立ガンセンター内科
〃	山本二郎（技術協力）	国際協力事業団医療協力部長

☆事前調査団 昭和５６年３月４日～３月１４日（１１日間）

編 成

団長	堀内伸介（総括）	外務省経済協力局技術協力第二課長
団員	中澤幸一（技術協力）	国際協力事業団医療協力部長
〃	鳥居有人（外科学）	国立病院医療センター副院長
〃	池田正男（内科学）	国立循環器病センター副院長
〃	萩原弥四郎（薬理学）	千葉大学医学部脳機能研究施設長・教授
〃	稲垣義明（内科学）	千葉大学医学部第三内科教授
〃	野村瞭（医療行政）	厚生省医務局総務課長補佐
〃	河野愛（医学教育）	文部省大学局医学教育課企画係長
〃	堀之内敬（技術協力）	外務省経済協力局技術協力第二課
〃	富本幾文（計画調整）	国際協力事業団医療協力部医療協力第二課

☆専門家チーム 昭和５６年８月１２日～８月１７日（６日間）

編 成

団長	鳥居有人（総括）	国立病院医療センター副院長
団員	武内重五郎（内科学）	東京医科歯科大学医学部附属病院長
〃	高澤龍夫（病院管理）	病院管理研究所研修部長
〃	堀之内敬（技術協力）	外務省経済協力局技術協力第二課
〃	富本幾文（業務調整）	国際協力事業団医療協力部医療協力第二課

☆実施協議調査団 昭和56年11月16日～11月20日(5日間)

編成

団長 井出源四郎(総括) 千葉大学医学部長
団員 池田正男(循環器病) 国立循環器病センター副院長
" 末舛恵一(悪性腫瘍) 国立ガンセンター副院長
" 内藤 洌(医療行政) 厚生省大臣官房国際課長
" 小川克也(医学教育) 文部省大学局大学病院指導室長
" 佐々木 修(技術協力) 外務省経済協力局技術協力第二課
" 中澤幸一(医療協力) 国際協力事業団医療協力部長
" 白石英一(業務調整) 国際協力事業団医療協力課

☆専門家チーム 昭和57年2月10日～2月15日(6日間)

編成

井出源四郎(病理学) 千葉大学医学部長
水平敏知(電顕組織学) 東京医科歯科大学難治疾患研究所教授
木原 達(腎臓病学) 新潟大学医学部附属腎研究施設教授
後藤昌義(心筋細胞学) 九州大学医学部第二生理学教授
中川泰二(技術協力) 国際協力事業団医療協力部管理課

☆専門家チーム 昭和57年10月13日～10月19日(7日間)

編成

井出源四郎(病理学) 千葉大学学長
鳥居有人(外科学) 国立病院医療センター副院長
佐分利輝彦(病院管理) 病院管理研究所所長
佐々木 修(医療行政) 外務省経済協力局技術協力第二課
平良 専純(技術協力) 国際協力事業団医療協力課長

☆計画打合せ調査団 昭和58年12月4日～12月11日(8日間)

編成

団長 井出源四郎(総括) 千葉大学学長
団員 鳥居有人(外科学) 国立立川病院院長
" 池田正男(内科学) 国立循環器病センター副院長
" 黒川祐次(政策協力) 外務省経済協力局技術協力第二課長
" 古川武温(医療行政) 厚生省医務局国立病院課長

団員 西村俊道(医学教育) 文部省学術国際局海外協力官
 " 中澤幸一(技術協力) 国際協力事業団医療協力部長
 " 船坂浩司(業務調整) 国際協力事業団医療協力課

☆実施協議調査団 昭和59年10月18日～10月25日(9日間)

編成

団長 井出源四郎(総括) 千葉大学学長
 団員 鳥居有人(外科学) 国立立川病院院長
 " 佐分利輝彦(病院管理) 病院管理研究所所長
 " 池田正男(内科学) 国立循環器病センター副院長
 " 廣川浩一(皮膚科学) 国立病院医療センター副院長
 " 市川平三郎(放射線科) 国立ガンセンター病院長
 " 手場大臓(医学教育) (財)国際医学情センター理事長
 " 谷崎泰明(政策協力) 外務省経済協力局技術協力課首席事務官
 " 目黒克己(医療行政) 厚生省保健医療局国立病院課長
 " 中川武義(医学教育) 文部省高等教育局医学教育課医療技術係長
 " 長谷川豊(技術協力) 国際協力事業団医療協力部長
 " 船坂浩司(計画調整) 国際協力事業団医療協力課担当

☆巡回指導調査団 昭和60年8月27日～9月7日(12日間)

編成

団長 井出源四郎(総括) 千葉大学学長
 団員 中島章(眼科) 順天堂大学医学部教授
 " 榊原博(循環器) 国立循環器病センター副院長
 " 伊藤清臣(医療協力) JICA医療協力部医療協力課課長
 " 伊藤勲(業務調整) JICA研修事業部研修第二課課長代理

☆巡回指導調査団 昭和61年8月28日～9月6日(10日間)

団長 井出源四郎(総括) 千葉大学学長
 団員 廣川浩一(病院管理) 国立病院医療センター副院長
 " 小畑美知夫(技術協力) 国際協力事業団医療協力部部長
 " 鳥飼繁(研修計画) 文部省学術国際局国際企画課課長補佐

表一2 専門家派遣実績

氏名	等級	指導科目	派遣期間	長短の区分	医一般の区分	帰国済赴任中の区分	生年月日	赴任時現職	最終学歴	卒業年度
高 沢 竜 夫	一般 1-2	病 理 管 理	56.8.12～56.8.17	短	一 般	帰国済	⑤ 4.1.26	厚生省 病院管理研究所研修部長	法政大学経済学部	S28
武 内 重 五 郎	医 療 特-2	内 科 学	56.8.12～56.8.17	"	医 療	"	① 11.1.30	東京医科歯科大学 第二内科学教室教授	東京帝大医学部	S19
鳥 居 有 人	医 療 特-2	外 科 学	56.8.12～56.8.17	"	"	"	① 11.1.10	国立病院医療センター 副院長	"	S19
富 本 幾 文	一般・5	業 務 調 整	56.8.12～56.8.17	"	一 般	"		国際協力事業団医療協力部 職員		
堀之内 敬	一 般 5-1	技 術 協 力	56.8.12～56.8.17	"	"	"	⑤ 25.1.16	外務省技術二課事務官	東京大学	S50
池 田 正 男	医 療 特-2	循 環 器 病	56.11.16～56.11.20	"	医 療	"	① 9.1.24	国立循環器病センター 副院長	"	S19
未 升 恵 一	医 療 特-1	悪 性 腫 瘍	"	"	"	"	① 15.8.21	国立ガンセンター 副院長	慶応大学	S24
佐々木 修	一 般 5-2	技 術 協 力	"	"	一 般	"	⑤ 29.1.23	外務省技協二課	東京大学	S52
木 原 達	医 療 1-1	腎 臓 病 理 学	57.2.10～57.2.15	"	医 療	"	⑤ 9.1.16	新潟大学医学部教授	新潟大学	S33
後 藤 昌 義	医 療 特-2	心 筋 細 胞 生 理 学	"	"	"	"	① 10.10.2	九州大学医学部教授	九州大学	S20
水 平 敏 和	医 療 特-2	電 顕 組 織 化 学	"	"	"	"	① 11.1.27	東京医科歯科大学教授	東京医歯専	S25
井 出 源 四 郎	医 療 特-1	病 理 学	"	"	"	"	① 9.9.7	千葉大学医学部長	千葉大学	S19
中 川 泰 二	一般・4	技 術 協 力	"	"	一 般	"	⑤ 22.6.1	J I C A 医療協力部職員	上智大学	S46
亀 山 正 邦	医 療 特2	脳 卒 中	57.7.24～57.8.9	"	医 療	"	① 13.1.6	京都大学医学部教授	東京大学	S25
泰 霞 哉	医 1-2	代 謝	57.8.11～57.8.20	"	"	"	⑤ 7.5.11	慶応大学医学部講師	慶応大学	S37
黒 木 登 志 夫	医 1-2	が ん	57.10.1～57.10.10	"	"	"	⑤ 11.1.10	東大医学部研究所助教授	北大	S35
佐々木 修	一 般 5-2	医 療 行 政	57.10.13～57.10.19	"	一 般	"	⑤ 29.1.23	外務省技術協力二課	東京大学	S52

氏名	等級	指導科目	派遣期間	長短の区分	医一般の区分	婦国済赴任中の区分	生年月日	赴任時現職	最終学歴	卒業年度
平良 純	一般 2-2	技術協力	57.10.13～57.10.19	短	一般	婦国済	① 13.1.6	JICA医療協力課長	岐阜大学	S46
鳥居 有 人	医特1	外科学	"	"	医療	"	① 11.1.10	国立病院医療センター副院長	東京大学	S19
佐分利 輝 彦	医特1	病院管理	57.10.13～57.10.16	"	"	"	① 12.11.7	厚生省病院管理研究所長	"	S22
井出 源四郎	"	病理学	"	"	"	"	① 3.9.7	千葉大学学長	千葉医科大学	S19

氏名	医一般の区分	等級	指導科目	派遣期間	長短の区分	婦国済赴任中の区分	生年月日	赴任時現職	最終学歴	卒業年度
新加 規 治 文	医療	2-2	レーザーによるがんの診断及び治療	58.9.13～58.9.18	短	婦国済	S 17.10.3	東京医科大学附属病院外科講師	東京医科大学	S44
内 園 耕 二	"	特 1	神経科学 神経生物学	58.9.13～58.9.20	"	"	T 5.10.9	岡崎国立共同研究機構機構長	東京帝国大学医学部	S16
西 江 弘	"	3	血液動力学	"	"	"	S 21.7.5	順天堂大学医学部講師	東京大学大学院	S51
吉 岡 真 澄	"	1-2	顕微鏡外科	58.10.13～58.10.21	"	"	S 3.5.23	国立病院医療センター脳神経外科医長	" 医学部医学科	S29
石 原 信 吾	一般	特 2	病院管理	58.10.2～58.10.11	"	"	S 7.12.5	厚生省病院管理研究所経営管理部部長	" 法学部	S17
重 松 秀 一	医療	1-2	腎疾患	58.11.5～58.11.12	"	"	S 14.8.7	信州大学医学部教授	千葉大学大学院	S44
井出 源四郎	"	特 1	病理学	59.8.26～59.9.1	"	"	T 9.9.7	千葉大学学長	千葉医科大学	S19
鳥居 有 人	"	"	外科学	"	"	"	T 11.1.10	国立立川病院院長	東京帝国大学医学部	S19
末 升 恵 一	"	"	"	59.8.26～59.8.30	"	"	T 15.8.21	国立がんセンター病院副院長	慶応義塾大学医学部	S24
南 野 肇	一般	5-2	技術協力	59.8.26～59.9.1	"	"	S 33.3.15	外務省	東京外国語大学	S55
船 坂 浩 司	"	3	計画調整	"	"	"	S 21.7.5	JICA医療協力部医療協力課	法政大学	S44

氏名	医一般の区分	等級	指導科目	派遣期間	長短の区分	帰国済赴任の区分	生年月日	赴任時現職	最終学歴	卒業年度
長谷川 豊	一般	特2	技術協力	59.10.18～59.10.25	短	帰国済	S 9. 9. 14	JICA 医療協力部部長	京都大学医学部	S34
池田 正男	医療	"	内科学	"	"	"	T 9. 1. 24	国立循環器病センター 副院長	東京大学医学部	S19
井出 源四郎	"	特1	病理学	59.10.20～59.10.25	"	"	T 9. 9. 7	千葉大学 学長	千葉医科大学	S19
鳥居 有人	"	"	外科学	59.10.18～59.10.25	"	"	T 11. 1. 10	国立立川病院 院長	東京帝国大学医学部	S19
佐分利 輝彦	"	"	病院管理	"	"	"	T 12. 11. 7	厚生省 病院管理研究所	東京大学医学部	S22
谷崎 泰明	一般	4	政策協力	"	"	"	S 26. 10. 20	外務省	東京大学法学部	S48
船坂 浩二	一般	3	計画調整	59.10.18～59.10.25	"	"	S 21. 7. 5	JICA 医療協力部医療協力課	法政大学	S44
広川 浩一	医療	特1	皮膚科学	"	"	"	T 14. 1. 1	国立病院医療センター 副院長	東京大学医学部	S23
中川 武義	一般	4	医学教育	59.10.18～59.10.25	"	"	S 25. 11. 28	文部省	立命館大学	S48
牛場 大蔵	医療	特2	"	59.10.20～59.10.25	"	"	T 2. 4. 1	財国際医学情報センター 理事 慶応大学名誉教授	慶応大学医学部	S11
市川 平三郎	"	特1	放射線科学	"	"	"	T 12. 10. 28	国立がんセンター 病院長	千葉大学医学部	S23
目屋 克己	"	1-1	医療行政	59.10.18～59.10.24	"	"	S 7. 12. 15	厚生省	慶応大学医学部	S34
藤井 恭一	"	1-2	医療講演(C T 診断の応用)	59.11. 1～59.11. 8	"	"	S 9. 3. 24	国立病院医療センター	九州大学大学院	S40
永井 輝夫	"	特2	医療講演(ICTの臨床診断)	59.11. 11～59.11. 18	"	"	T 15. 5. 27	群馬大学 医学部教授	東京大学医学部	S24
秋山 武	"	"	医療講演(院内交又感染の予防)	59.11. 18～59.11. 24	"	"	T 14. 12. 15	北里大学 医学部	慶応大学医学部	S26
林 康之	"	"	医療講演(生化学検査の新しい進歩)	60. 2. 6～60. 2. 14	"	"	T 14. 6. 6	順天堂大学 医学部教授	新潟医科大学	S24
町井 潔	"	"	医療講演(超音波心動図の臨床診断)	60. 2. 25～60. 3. 3	"	"	S 2. 2. 24	東邦大学 医学部第三内科教授	東京大学医学部	S27

氏名	医一般の区分	等級	指導科目	派遣期間	長短の区分	帰国済赴任の区分	生年月日	赴任時現職	最終学歴	卒業年度
中田満江	一般	特2	看護教育	60.3.3～60.4.2	短	帰国済	S 5. 7. 18	聖マリアンナ医科大学病院 副看護部長	松本医学専門学校 附属看護学校	S23
伊藤英明	医療	3	臨床医学	60.3.15～61.3.14	長	"	S 17. 2. 4	九州大学医学部附属病院	九州大学医学部	S41
一糸勝夫	一般	特2	病院管理	60.3.21～60.4.2	短	"	T 13. 1. 2	自治医科大学 病院管理学研究室教授	東北帝国大学法文学部	S22
鳥居有人	医療	特1	チーフアドバイザー	60.3.15～60.4.4	"	"	T 11. 1. 10	国立立川病院 院長	東京帝国大学医学部	S19
高畑博之	"	2-2	放射線	"	"	"	S 12. 10. 5	国立病院医療センター 副診療放射線技師長	早稲田大学第二文学部	S38
徳植公一	"	5-2	病院管理	60.3.15～60.3.28	"	"	S 28. 2. 9	厚生省 保健医療国立療養所課	大阪大学医学部	S56

専門家氏名	専門家区分	号	指導科目	長短区分	継続新規	派遣期間	帰国済赴任中区分	赴任時現職	赴任時住所 (都道府県) 生年月日
中田満江	一般	特-2	看護教育	短	継続	60.3.3～60.4.2	帰国済	聖マリアンナ医科大学病院 副看護部長	東京都 S 5. 7. 18
伊藤英明	医療	3	臨床医学	長	"	60.3.15～61.3.14	"	九州大学医学部附属病院	福岡県 S 17. 2. 4
高畑博之	一般	2-2	放射線	短	"	60.3.15～60.4.4	"	国立病院医療センター 副診療放射線技師長	東京都 S 12. 10. 5
鳥居有人	医療	特-1	チーフアドバイザー	"	"	"	"	国立立川病院 院長	東京都 T 11. 1. 10
一糸勝美	一般	特-1	病院管理	"	"	60.3.21～60.4.2	"	自治医科大学 病院管理学研究室 教授	埼玉県 T 13. 1. 2
立場正夫	"	5-2	業務調整	長	新規	60.5.16～62.5.15	"	JICA 医療協力部付	神奈川県 S 27. 1. 30
加藤孝子	医療	2-2	産婦人科学	"	"	60.7.1～61.6.30	"	帝國大学 医学部産婦人科 講師	千葉県 S 23. 1. 8
広川浩一	"	特-1	チーフアドバイザー	短	"	60.7.1～60.7.21	"	国立病院医療センター 副院長	東京都 T 14. 1. 1

専門家氏名	専門家区分	号	指導科目	長短区分	継新規	派遣期間	帰国赴任中区分	赴任時現職	赴任時住所(都道府県)生年月日
高畑博之	一般	2-2	放射線	短	新規	60.7.1~60.9.30	帰国済	国立病院医療センター放射線科 副診療放射線技師長	東京都 S 12.10.5
中田満江	"	特-2	看護教育	"	"	60.7.1~61.3.15	"	聖マリアンナ医科大学病院 看護部 副看護部長	東京都 S 5.7.18
小林太助	"	1-1	病院管理	長	"	60.8.1~62.7.31	"	医療法人明和会 常務理事	神奈川県 S 8.1.17
松井敏幸	医療	4	臨床内科	"	"	60.8.1~61.7.31	"	九州大学医学部附属病院 第二内科 助手	福岡県 S 25.3.6
末舛恵一	"	特-1	チーフ・アドバイザー	短	"	60.11.25~60.11.29	"	国立がんセンター病院 副院長	東京都 T 15.8.21
中山文夫	"	特-2	外科	"	"	60.11.25~60.12.6	"	九州大学医学部 第一外科 教授	福岡県 S 3.3.20
喜多悦子	"	1-2	臨床検査	"	"	61.3.20~61.3.28	"	奈良県立医科大学 病態検査学教室 助教授	兵庫県 S 14.8.18

氏名	専門家の号	指導科目	長短区分	継新規	派遣期間	帰国赴任中区分	赴任時現職	赴任時住所	赴任時住所コード
鳥居有	医0-1	チーフアドバイザー	短	新規	86.6.17~86.6.28	帰国済	国立立川病院 院長	東京都	1
武健	医0-2	病院管理	"	"	86.6.19~86.6.23	"	厚生省 保健医療局国立病院課 課長	広島県	1
猪俣	3-1	協力計画	"	"	86.6.23~86.6.28	"	JICA 医療協力部 医療協力課	神奈川県	7
西脇	医2-1	癌	"	"	86.8.28~86.9.4	"	国立療養所松戸病院 内科医長	岐阜県	1
中田満江	0-2	看護	"	"	86.10.21~87.1.20	"	聖マリアンナ医科大学病院 副看護部長	長野県	4
鬼頭義次	医2-1	心臓外科	"	"	86.11.7~86.11.12	"	国立循環器病センター 心臓血管外科	大阪府	1
稲葉憲之	医2-2	産婦人科	"	"	86.12.22~86.12.27	"	千葉大学医学部婦人科 講師	茨城県	1
里村洋一	医1-2	医療情報処理	"	"	87.3.6~87.3.13	"	千葉大学医学部附属病院 医療情報課 部長	千葉県	1
鳥居有	医0-1	チーフアドバイザー	"	"	87.3.9~87.3.17	"	国立立川病院 病院長	東京都	1
前沢秀	医0-1	"	"	"	"	"	東京医科歯科大学医学部附属病院 病院長	"	1

氏名	専門家の号	指導科目	長短区分	継新	派遣期間	帰国済社任中区分	赴任時職	赴任時住所	赴任時コード
末永昌介	0-1	技術協力	短	新	87. 3. 9 ~ 87. 3. 14	帰国済	JICA 理事	東京都	7
清水嘉一郎	2-2	"	"	"	"	"	JICA 医療協力部管理課	"	7
立場正夫	5-1	業務調整	長	継	85. 5. 16 ~ 87. 10. 31	"	JICA 医療協力部付	神奈川県	3
加藤孝子	医2-2	産婦人科学	"	"	85. 7. 1 ~ 86. 6. 30	"	帝京大学 医学部産婦人科 講師	千葉県	4
小林太助	0-2	病院管理	"	"	85. 8. 1 ~ 87. 7. 31	"	医療法人明和会 常務理事	神奈川県	4
松井敏幸	医3-1	臨床内科	"	"	"	"	九州大学医学部付属病院 第二内科 助手	福岡県	1
喜多悦子	医1-2	臨床検査学	"	新	86. 4. 29 ~ 87. 4. 28	"	奈良県立医科大学病態検査学教室 助教授	兵庫県	2
中垣充	医3-1	外科	"	"	86. 6. 17 ~ 87. 6. 16	"	九州大学医学部付属病院 第一外科 助手	福岡県	1
岡田照子	0-2	看護	"	"	86. 10. 21 ~ 87. 10. 20	"	無職	東京都	9
小高通夫	医1-2	人工透析	短	"	87. 11. 9 ~ 87. 11. 15	"	千葉大学医学部第二外科 助教授	千葉県	1
中牟田博敬	医2-2	歯科	"	"	88. 2. 13 ~ 88. 6. 18	"	九州大学歯学部 講師	福岡県	1
立場正夫	5-1	業務調整	長	継	85. 5. 16 ~ 88. 5. 15	"	国際協力事業団医療協力部付	神奈川県	7
小林太助	0-2	病院管理	"	"	85. 8. 1 ~ 87. 7. 31	"	医療法人明和会 常務理事	"	4
喜多悦子	医1-2	臨床検査学	"	"	86. 4. 29 ~ 87. 4. 28	"	奈良県立医科大学病態検査学教室 助教授	兵庫県	2
中垣充	医3-1	外科	"	"	86. 6. 17 ~ 87. 6. 16	"	九州大学医学部付属病院 第一外科 助手	福岡県	1
岡田照子	0-2	看護	"	"	86. 10. 21 ~ 87. 10. 20	"	無職	東京都	9
鳥居有入	医0-1	チーフアドバイザー	"	新	87. 6. 2 ~ 88. 6. 1	"	"	"	9
興栢憲男	医3-1	内科	"	"	87. 7. 5 ~ 88. 7. 4	"	九州歯科大学内科学 助手	福岡県	1
萱島孝二	医2-2	外科	"	"	87. 11. 14 ~ 88. 11. 13	"	九州大学附属病院 講師	福岡県	1
高倉公朋	医0-2	脳外科	短	継	87. 4. 12 ~ 87. 4. 16	"	東京大学医学部脳神経外科 教授	東京都	1
永沢恒	医0-1	歯科	"	"	87. 5. 7 ~ 87. 5. 14	"	九州大学歯学部附属病院 院長	福岡県	1
阿部師	医1-1	血液学	"	"	87. 10. 5 ~ 87. 10. 12	"	波大学臨床医学系 教授	茨城県	1

氏名	専門家の号	指導科目	長短区分	続新規	派遣期間	帰国赴任中区分	赴任時職	赴任時住所	赴任コード
井源四郎	医0-1	病院管理	短	新	87.10.26～87.11.3	帰国済	千葉大学 学長	千葉県	1
近藤達也	医2-1	脳外科	"	"	87.10.26～87.12.25	"	国立病院医療センター脳神経外科	東京都	1
中牟田博敬	医2	歯科	"	継	88.2.13～88.6.18	"	九州大学歯学部 講師	福岡県	1
源河茂	医3	脳外科	"	新	88.4.14～88.5.14	"	東京大学医学部脳神経外科 助手	東京都	1
河合忠	医0	臨床検査	"	"	88.4.25～88.5.3	"	自治医科大学臨床病理学教室 教授	栃木県	4
森貞子	4	業務調整	"	"	88.5.10～88.9.9	"	国際協力サービスセンター	東京都	4
大関悟	医2	歯科	"	"	88.6.11～88.10.15	"	九州大学歯学部付属病院 講師	福岡県	1
御修一	医0	放射線治療	"	"	88.7.11～88.7.16	"	国立病院医療センター第2放射線科 医長	千葉県	1
森田和之	1	製剤	"	"	88.7.18～88.7.23	"	(株)エーザイ 生産部GMP課	長野県	4
浪川宏	2	医療施設建設に係る技術指導	"	"	"	"	(株)伊藤喜三郎建設研究所	神奈川県	4
野口光一	3	技術協力	"	"	"	"	国際協力事業団医療協力部管理課 課長代理	埼玉県	7
山田正興	医0	細胞生物学	"	"	88.9.12～88.10.8	"	徳島大学医学部第1解剖学教室	奈良県	1
塚本泰	医2	脳外科	"	"	88.9.15～88.10.2	"	国立病院医療センター脳神経科 医長	東京都	1
十字猛夫	医1	免疫遺伝学	"	"	88.10.3～88.10.8	"	東京大学医学部附属病院輸血部	千葉県	1
設楽信行	医2	脳外科	短	新	88.10.4～88.10.18	"	東京大学医学部脳神経外科 講師	東京都	1
近藤晃	医3	歯科	"	"	88.10.12～89.2.11	"	九州大学歯学部	福岡県	1
安達恵美子	医0	眼科	"	"	88.10.25～88.10.30	"	千葉大学医学部眼科 教授	千葉県	1
進藤静生	医2	プライマリケア	"	"	88.12.22～89.1.21	"	聖マリア病院小児科 部長	福岡県	4
今村桃子	5	看護	"	"	88.12.22～89.3.21	"	聖マリア病院外科病棟 婦長	"	4
池田嘉弥	1	病院管理	短	新	88.12.22～88.12.24	"	国際協力事業団医療協力部管理課 課長	東京都	7
弓削健	医4	プライマリケア	"	"	89.1.26～89.2.25	"	聖マリア病院小児科 医師	福岡県	4
野中純一	3	建築	"	"	89.2.19～89.2.25	"	伊藤喜三郎建築研究所設計部 係長	埼玉県	4

氏名	専門家の号	指導科目	長区分	継新規	派遣期間	帰国済赴任中区分	赴任時職	赴任時住所	赴任時コード
浪川 宏	2	建築	短	新規	89. 2. 19 ~ 89. 2. 25	帰国済	伊藤喜三郎建築研究所 設計部 部長	神奈川県	4
藤田 幸	1	建築	"	"	"	"	伊藤喜三郎建築研究所	千葉県	4
小池 正人	5	建築	"	"	"	"	"	東京都	4
小野 栄一郎	医2	プライマリ・ケア	"	"	89. 2. 21 ~ 89. 3. 25	"	聖マリア病院小児科	福岡県	4
井出 源四郎	医0	チーフアドバイザー	"	"	89. 3. 31 ~ 89. 6. 26	赴任中	無職	千葉県	9
立場 正夫	5	業務調整	長	継続	85. 5. 16 ~ 88. 5. 15	帰国済	国際協力事業団医療協力部付	神奈川県	7
鳥居 有	医0	チーフアドバイザー	"	"	87. 6. 2 ~ 88. 6. 1	"	無職	東京都	9
興 柁 憲 男	医3	内科	"	"	87. 7. 5 ~ 88. 7. 4	"	九州大学内科学 助手	福岡県	9
萱 島 孝 二	医2	外科	"	"	87. 11. 14 ~ 88. 11. 13	"	九州大学附属病院 講師	大分県	1
影 山 裕 子	4	業務調整	"	新規	88. 9. 2 ~ 89. 10. 11	赴任中	(財)国際協力サービスマス・センター	愛知県	4
寺坂 礼 治	医3	外科	"	"	88. 10. 22 ~ 89. 10. 21	"	九州大学医学部第一外科 文部教官助手	福岡県	1
大 浜 京 子	5	看護	"	"	89. 3. 16 ~ 90. 3. 15	"	聖マリア病院 婦長	"	1

5-1 分野別の評価

(1) 本プロジェクトに対する技術協力は、約8年間に亘り実施して来たところである。中日友好病院の開院以前は本院に従事する要員の養成を目的とし、研修員受け入れおよび医療講演専門家の派遣による本院開院に向けたものであったため、技術移転の効果測定が行なわれなかったが1984年10月に順調な病院運営ができたことは、この3年間の協力が効果的に作用したものと判断される。

開院(1984年10月)後は、臨床・研究等の幅広い分野に対し、人材養成を含む診療・研究技術の向上を中心に協力を行なった。

(2) 本院の運営状況の評価

本院の開院以来、患者数は確実に増加しており、現在の一日の外来患者は約1,000人で、当初設定した目標(1,500人~1,000人/日)の水準に達している。また、入院患者も約1,000人~約1,100人で、ベッドの使用率は、約75~85%と適正な範囲内にある。

(3) 特定分野の研究

喜多悦子長期専門家を中心に血液凝固・線溶検査、血液形態検査の技術指導を行ない臨床検査科、病理科、血液科からなる合同研究グループを組織し、「糖尿病における血栓形成の機序と中薬(漢方薬)の効果」を研究した。同専門家帰国後、中国側は独自に研究を進め、衛生部(厚生省)から奨励金研究テーマとして取り上げられるに至った。

高倉公朋短期専門家を中心とした、東京大学医学部、国立病院医療センターと本病院の脳外科による「悪性脳腫瘍の治療効果」の研究は、日本側の指導により100症例の比較検討を終え、本年10月に双方で研究結果を発表するに至った。

(4) 臨床治療の向上

外科分野に対し、伊藤英明・中垣充・萱島孝二・寺坂礼治長期専門家がカルテの記述方法から臓器移植(動物を中心として)に係る技術指導を行なった結果、中国側は独自で人体による腎臓移植・すい臓移植を行なえる水準になった。

内科分野に対し、松井敏幸・興相憲男長期専門家により内視鏡の操作、内視鏡写真の判読、レントゲンフィルムの判読等につき、指導した。同専門家帰国後も中国側は独自に操作・判読の研修会を定期的で開催し、技術向上に努めるまでに至った。また、胃癌患者の診断・治療に関して、病理・外科を含めた合同の定期的カンファレンスを組織し、診断の正確性を高めつつある。

(5) 病院管理の整備

本分野は1985年8月より1987年7月までの2か年間小林太助長期専門家が病院管理分野に於ける指導と助言を行なうとともに、鳥居有人、井出源四郎チーフアドバイザーが指導した。その指導内容は主に「会計事務の簡素化」・「患者食の改善」・「患

者サービス」の三点である。本件技術指導の中で最も困難な分野であった。中国側はこのような超大型病院の運営経験が無いことに加え、国情の異い、更には運営に必要な適正な人員構成するための人員整理が行なわれていない。

料金支払いについて、当初各セクションで徴収していた制度を改め、一部につき一括徴収の制度を導入している。また、患者食については、洋食、日本食、回教食など患者の趣向に合わせた物を提供するなど改善が見られるが、糖尿病患者などへの検食制度が十分に機能していない面がある。

(6) 研修受け入れ

日本で研修を受けたカンターパートは、これまでに187名に及ぶ。その殆どは中日友好病院に於ける臨床各科室・研究所・衛生学校の主任（医長相当）であり、各分野に於ける中心的な役割を果たしていることに鑑み、おおむね、技術研修効果があったものと思われる。中でも、左煥宗脳外科主任は日本で修得した技術を臨床に生かし、中国では最初の三叉神経術を行っており、現在は中国全土から患者が集まり、現在2000名が治療を受けるべく、特機中である。

(7) 供与機材

中日友好病院は日本の無償資金協力により、近代的最新鋭の医療機器が大量に導入されていることに伴い、そのスペアパーツおよび消耗品の供給が極めて重要であった。病院側は自己資金で賄うことができないため、当初の機材供与の内容はその殆どがスペアパーツと消耗品であったが、中国側の自助努力によりその割合は段階的に減少してきた。

機器の使用については、一部の機器は使用頻度が少ないものもあるが、これは使用コストによる検査料金の高さによるものと思われ、今後、社会的の所得水準が向上するとともに医療制度の改革に伴い、その使用頻度は増加するものと思われる。その他の機器については、おおむね適正に使用されている。

また、機器の保守管理については、日本の業者および香港の業者が入り、機器の保守と要員の育成が行なわれており、簡単な故障については、独力での修理が可能であることから、基本的には充足されていると判断できる。

5-2 評価の総括

病院運営について

（古川 哲二）

本プロジェクトの評価に際し、全体的な観点から述べるならば、次のとおりに要約できよう。

受付や医事の窓口も高く威圧的でいかにもお役所風である。玄関を入ってすぐのところに、患者第一という標語が書かれてあった。待合の椅子もさして上等なものではないが一応の物を置いている。しかし、低く、ゆっくりした座り心地の良いものではない。

入院患者数約1000名(85%位)、外来患者1日1000名という。これに対し、医師約600名を含み職員数は2500。これは中国の法律によって、ある地区の住民はそこにある企業が全部職員として雇わねばならぬからだという。これではいくら給料が安いといっても人員の適正配置など望むべくもないのではなかろうか。人は多ければ多いほどよいというものでもない。これでは職員の間きちんとした労働意欲もわかず、まして適当な競争意識が働いて、全体も個人も進歩して行くといったことは望めないのではないか。中国の国家組織、共産党との関係などよく分からぬが、硬直した組織、構造では病院の管理、運営、経営などは難しいのではなかろうか。

また、給与や身分に差がありすぎるのもどうかと思うが、医師と運転手の給料が同じでは良い医師は育ち難い。しかし、これらは中国全体における問題でもあり、本プロジェクトのみに限り、改善を求めることは極めて困難な問題であろう。

中央診療部門の中で特に各科と関係が深いのは検査部と放射線部である。前者は更に検体計測と生体計測に分けられるが、本院で後者のうち内視鏡検査と超音波検査は内科が担当し、脳波、心電図のみを取り扱っている様子であった。心臓カテーテル検査は内科の循環器科が実施している。放射線科は透視、撮影を行って読影の結果を報告するらしいが、フィルムを貸出したり、積極的に joint conference に参加してはいない。これに対し、検査部、ことに検体検査、なかでも生化学部門は部長の熱意と積極性によって円滑に機能しているようである。同科の部長は日本語もお上手、よいお人柄と見受けられた。組織の運営はシステムそのもさることながら、それを動かす人によると改めて痛感させられた。これに対し放射線部は機器の整備、保守点検もいま一步のところである。血管造影の機械も一台は故障しており、現地エンジニアが対応していたが修理を完了させるまでには相当な時間が必要と思われた。X線フィルム等もすべて放射線科が独占管理し、読影の結果を通告するのみといった状態。その結果、外来へ来た骨折の疑いの患者に対しても3日後、再訪を約束させられ、そこでフィルムを見て説明されるといった状況である。こういった独専的、閉鎖的なやり方は、多かれ、少かれ、日本でも共通した問題であるが、基礎医学と臨床医学、中央診療部門と各診療科間、講座、診療科間など横の連携が、近代医学の進歩、医療の効率化に寄与して来たことを考えれば、中日友好病院が医療の質の向上、発展を目指すには、今後の技術指導の中で更に改善すべき点であろう。

伝え聞くところによると各科の独立採算制がしかれているらしいが、これらは各科の閉鎖性を助長し、病院として大きく伸びる妨げとなるものと考えられることから何等かの改善策を講ぜざる必要に迫られている。

機器の管理についても中国側の言葉を借りれば、壊れても parts がないので修理できないとのこと。parts に関しては関係するメーカーに依頼して供給して貰うしかないが、誰がその代金を負担するのであろうか。同様のことは日常使用される衛生材料、特にデイス

ポーザブルの材料についても言える。これらの資材が中国で生産されていれば兎も角、されていないものについては、J I O A が供給し続けていけるものであろうか。結局はこれらの資材を国内で生産できるようにもって行くか、自らの金で購入するほかはないのではなかろうか。また機器の故障も大懸かりなものでない限り、自力で修理できるよう、今後は臨床工学士の養成を心懸くべきではないだろうか。

大型の機器に関しては耐用年限が来つつあるということでその更新を希望する声が出ている。しかしたとえばレントゲンの管球などは1個で数百万円、数千万円の高価なものであり、まして5、6千万～数億円もするような機器をわが国が数年毎に供給することが可能であろうか、これらの点について、中国側は長期計画を制定し、そのもとで医療機器の更新を図るようにすべきである。

管理運営に関しては病院の収支、経営内容、医療費の決め方、或は人事、人件費、物件費など詳しいことは皆目分からぬので具体的には論評でない。しかし科単位の独立採算性など、横の協力を阻んでいるものがあるとすれば早速改善をはかって欲しい。

わが国に派遣された研修者の数はこの5年間ですでに200名に及ぶという。しかし研修の効果はどうであろうか。研修で人が育ち、病院の活性化、進歩に役立つという見地からすれば選考もまたその線に添って、若い意欲と能力のある人が選ばれるというのが原則であろう。しかし実際には比較的、中、高年の人が多く、年功序列の順といった感がないでもない。これらのことは、国の制度上、やむを得ないとしても、慢然と多数の人員をかかえて手を拱いているのを止めて、事業を拡大して、それぞれに適した働き場所を作るなどこれらの研修員をより効果的に活用すべきである。

受付や医事の窓口が高く圧迫感を与えているのは前に述べたが、医師自身もそうではないだろうか、患者や家族に対する心儘し、思いやりは、その辺りがあいまいで単に高価な医療機器のみを求め、自分を含めその所属する科のみのためだけを思っているように見受けられる。従って今後の協力において、医療の哲学的なことも含め、「医道」のあり方から変革を求めて行くよう心掛るべきであろう。加えて本院設立の理念を徹底させる必要がある。今回の評価調査に参加して、次のことを提案したい。

1. 現状の急激な改善は望めない。そこで時間をかけて根気強く、「若い、才能のある人を育て続ける。」
2. このためには研修生の数を絞り、かつ期間を延長する。また選考に当たっては日本側も参加し、日本語の習得を義務づける。
3. これらの研修生には帰国後一定期間、病院に勤務することを条件づける。
4. 人材、特に帰国研修生の適正なる配置、登用をはかる。
5. 診療、研究をすすめることは病院のレベルの恒久的な維持、向上のために必要である。このためには当病院を医師看護等の卒前、卒後、生涯教育の研修の場となるよう位置づ

ける。

6. 人員の適正配置。そのためには狭義の診療のみならず、医学、医療に関する機構、施設を整備して雇用の拡大をはかる。
7. 管理、運営方式の見直し。

研修員の受入れについて

鳥居 有人

私は中日友好医院の技術協力プロジェクトに最初から参画し、年2-3回訪中した。更に1987-8年の1年間はチームリーダーとして北京に滞在した。今回プロジェクト終了に伴う評価調査団に加わり、主として「研修員の受入れ」に関する分野を担当したので報告する。従来の病院管理に対する助言を行って来たが、その評価に関しては、長期滞在時の報告書に詳しく記述したので参照していただきたい。

技術協力の三本柱の一つとしての研修員受入れは、病院の建設が始まるとほぼ同時に開始され、現在迄約8年間に187名に達した。診療レベルの向上の為に、新しい技術、知識の獲得は次くべからざるものであるが、研修員が帰国後、それをどの様に活用し、普及させるか、問題である。

「研修員の質について」

最初の時期は日本へ行けると言うことで中日友好医院に就職して来た人が多く、また親の七光りや高官の推薦による研修員も多かったので、日本語が全く出来ず、能力も疑われる様な人がかなり混っていた。

受入れ側の日本は、当時中国人が珍らしく、また国内に日中友好ブームが起っていたことも相俟って、好意的に取扱った。

当時の留学生は、帰国後他院へ移った者も一部見受けられる。開院前であった為、職員数が少なく、その中から選衡されるので、多くを期待する方が無理であったかも知れない。開院後は職員も増え、優秀な人材が研修員として次々に来日した。しかし日本語の能力は依然低く、その為に持てる能力を充分発揮出来なかつた人も多かった。彼等の平均年齢は年毎に低くなり、活気溢れるものとなった。2年前より、離国前6ヶ月間本業を離れ、瀋陽の中国医科大学内に缶詰にされて、終日語学研修を行っているの、かなり日本語の能力が付いて来た。一方、日本の受入れ側としては、業務多忙の為もあり、円滑に実施できなかった点もある。

「研修予定者との面談」

私共は、プロジェクト最後の研修予定者の面接を行った。20名中、日本語の能力が優秀なもの5名、日常会話がまあまあ出来るもの10名であった。医師12名で、うち中医が4名含まれている。他に行政部門から病院管理の研修に行く40才台の副処長、衛生学校長が3名と通訳1名がいる。この3名は全くと云ってよい程、日本語が出来ないし、勤

務繁忙の為とて瀋陽の日本語研修にも参加していない。この病院管理の研修は衛生部からの強い要望によると聞いているが、病院管理研究所で講義を受けたり、各地の病院を見学したりする為には、日本語が判ることが必須条件である。当方としては出発迄に集中研修をする様、院長に強く要請しておいた。

20名中、女性13名男性7名で、圧倒的に女性が多い。この傾向は医学生において一段と顕著で、現在7：3の比率とか。

「研修終了者について」

研修を終えて帰国した連中のうち、代表に集って貰って意見を聞いた。日本語が出来、現在院内で活躍中の人のみが参加したので、全般的な評価とは異なるかも知れないが、日本での研修は非常に効果があり、現在の仕事に非常に役立っていると、全員が発言した。

またプロジェクト終了後の病院の将来について、二つの事を懸念していた。一つは現在の医療機器類が右くなり、更新が困難であろう事、一つは今の指導者が優秀でない為、若い人材の養成が自力では出来かねることである。また病院の掲げる旗印の一つである中西医結合に関しては、日本で学んだ西洋医学の知識を取入れて活躍していると中医の一人が発言した。しかし大半はまだ大きな成果を挙げるに至っていない。

また別に研修員の呈出した報告から、二、三の意見を抜萃してみると、研修期間の6ヶ月は短かすぎる、その中で東京における語学研修に時間をとられるのは無駄である。見学だけでなく、実際に体験して技術を習得したい、勉強して来た事が機器が無い為、帰国後活用出来ない等の苦情がある。反対に、親切にして貰った、よく指導が受けられたと感謝の意見も多い。東京における語学研修に対する意見は、各人の日本語の能力が区々である為評価が異っていると思われるが、面倒でも劃一的な研修は避け、個々の能力に適合した研修スケジュールを立てるよう心掛るべきと思われる。

「研修の評価と日本語教育」

8年に及ぶ研修員受入れによって、病院内に日本語の判る多数の人材が育成され、技術協力を容易にし、その成果があがったと考えている。中国に新しい知識と技術を導入し、病院の評判を高めているのみならず、日本と共同研究を進めている事例(脳神経外科)、研修中の業績を発展させ、その後も来日して、学会発表を行っている人(内分泌研究室)、専門家の交流が円滑で、指導の効果があがっている科(中央検査科)など研修のもたらした大きな成果と云ってよい。これらの実績を生み出したのは、各人の能力、努力によるが、日本語の能力に負う所も大きい。

日中友好の為に建てた病院が、今後発展を続ける為には、日本語の出来る職員を多く持ち、交流を円滑にすることが必須の条件であり、その為に私共は院内に日本語ルームを設置して勉学の便宜を計ったり、小グループを組織して授業を行ったりした。勿論病院側も一般職員を含めた日本教室を開いている。

今後も病院の中心になると思われるのは、才能があり、その上に日本語に熟達した医師である。中国医科大学が従来から実施している日本語による医学教育に、日本政府がプロジェクト協力されることは大変喜ばしい。

その卒業生が、この病院に続々就職する様になれば、派遣された日本専門家からの技術移転の効果があがるし、彼等を日本で研修させれば何倍もの成果をあげることが出来るであろう。

「研修員の選考について」

候補者はすべて科の主任からの推薦である。また毎年の様に選考の基準が変わる。（卒業後何年以上とか、大学院生は資格なしとか）

推薦は科内の上級者から序列に従って実施される。この病院の将来を考えて優秀な人材をとるか、必要な部門を優先にとかの配慮は少い。これは院内に波風を立てたくないとの指導者の考え方かも知れない。プロジェクトが終れば、大量の研修員の派遣は不可能になるので、最後の来日グループは公募にして、その選考には日本側も参加することを、年次計画書に明記して双方サインしたのであるが、その一週間後に、従来のやり方を踏襲して選考が行われた。全く当方を無視した行動に、嚴重な抗議をした所、緊急会議を開いた上、選考事務の責任者（科教処主任）を本年限りで解任するから了解して欲しいとの返事が届いた。全く筋違いの解決策で公募は結局行われなかった。この国の国情からして、公募はなじまない方法だと思っていたが、あっさり同意し、書類にまで書き込んだので、院長の権限が大きくなった証拠であろうと喜んでいたらこの結果で、民主主義が育たないのも領ける様な気がする。一年滞在して、ある程度中国を理解し、改革開放が進んで来たことを皮膚で感じていたのであるが、失望させられた。

「研修先と研修テーマについて」

これらの項目は事前に希望を書かせているが、知識が乏しく、ある年次では帰国した研修員の意見に従い、多数の人が揃って3つの同じ大学の名を記していたことがある。面接によりその大学に関し全く知らないことが判明した。また自分の研修テーマについて、どこが適当かも勉強していないので全く判らない人もいる。

ごく一般的な手扱の習得をテーマにしている研修生が時々いる。院内の他の科室で日常行われている様なことを、日本へ行って研修する必要があるだろうか。初歩からの研修は受入れ先に失礼であるから、その旨を院長に告げて却下させた例もある。その大部分は中国医学の医師である。各科間の横の連絡が欠け、殊に中医と西医の間において甚しいので、この様な現象が起るのである。

この横の連絡の悪いことは中国の特性であり、その原因は社会機構、殊に単位に根ざしたもので、早急には改善出来ないと思う。このことは、研修員の帰国後の知識技術の普及を困難にしているし、各臨床科間の連絡の悪さは医療レベルの向上を妨げている。

結 論

以上研修員の受入れに関し、実情をふまえて厳しい評価を加えて来たが、逆に我々が満足する様な研修員が続々来日する様な状態ならば、その国のレベルは高く、技術協力の必要性は少ないといえる。

そもそも国際協力は、相手国の要請を受けて行うのが原則と聞くが、相手国のメリットになるかどうかをよく考慮し、またよりよい効果をあげる方策を検討し、更に国費の無駄使いにならぬ様対応して来たつもりである。

その結論として、一病院から毎年20名の研修員受入れは少し多すぎた感がある。勿論優秀な人材が多く、選考に頭を悩ます様な状況であれば、20名でも少な過ぎるかも知れないが、現実には適当な人材を見出すのに苦労した。日本を見せて一応理解させるだけの為なら6ヶ月も必要ないし、勉強させて技術移転を計るには短期間すぎる様な気がする。

プロジェクト終了後のフォローアップでは、極めて優秀な、しかも将来この病院の中核になり得る人材を厳選し、少くとも1年以上受入れ、更にJICA以外の研修ルートを開拓して他の人の希望もかなえてやりたいものである。開院して5年、これから正念場を迎えるこの病院に対して、どの様なテコ入れが必要か？、将来長期間の援助は政府として困難であれば、日本国内に支援財団を作って対処すべきではなかるうか。

表 一 3 研 修 員 受 入 れ 実 績

番号	氏名	(英文)	研 修 科 目	研 修 期 間	受 入 れ 先	帰国後の配属先	備考
1	孟昭赫	Mr. MENG ZHAO HE	細菌学	55.2.13 ~ 55.3.17	国立公衆衛生院	転 勤	
2	廖家積	Mr. LIAO JIA ZHOU	循環器(心血疾患)	55.3.12 ~ 55.6.18	国立循環器病センター	転 勤	
3	曾幼魯	Mr. ZENG YU LU	循環器(心血疾患)	55.3.12 ~ 55.6.18	国立循環器病センター	放射線診断部	
4	趙家其	Mrs. CHAO JIA QI	ガンの免疫学診断	55.3.13 ~ 55.6.18	国立ガンセンター	転 勤	
5	楊維益	Mr. YANG WEI YI	ガンの化学療法及び免疫療法	55.3.13 ~ 55.6.18	国立ガンセンター	臨研薬理室	
6	張齊聯	Mr. ZHANG QI LIAN	消化器系ガンの診断法	55.3.13 ~ 55.6.18	国立ガンセンター	転 勤	
7	陸蘊如	Mrs. LU YUN RU	漢方薬(中薬の主要成分の研究分析)	55.3.6 ~ 55.9.5	北里研究所	転 勤	
8	閻文玖	Mrs. EN WEN WEN	漢方薬(キンボウゲ科植物の化学分析)	55.3.6 ~ 55.9.5	北里研究所	転 勤	
9	程克如	Mr. CHEN KE RU	医療視察団	55.11.3 ~ 55.11.15	視 察	転 勤	
10	董玉昌	Mr. DONG CHANG	医療視察団	55.11.3 ~ 55.11.15	視 察	転 勤	
11	劉文泉	Mr. LIU WEN QUAN	医療視察団	55.11.3 ~ 55.11.15	視 察	北京中医学院	
12	楊燕門	Mr. YANG YAN MEN	医療視察団	55.11.3 ~ 55.11.15	視 察	転 勤	
13	趙長征	Mr. ZHAO CHANG ZHENG	医療視察団	55.11.3 ~ 55.11.15	視 察	転 勤	
14	卞志强	Mr. BIAN ZHI QIANG	医療視察団	55.11.10 ~ 55.11.18	国立ガンセンター他	中国人専門家室	
15	師福林	Mr. BI FU LIN	医療視察団	55.11.10 ~ 55.11.18	国立ガンセンター他	呼吸内科	
16	劉玉清	Mr. LIU YU QING	医療視察団	55.11.10 ~ 55.11.18	国立ガンセンター他	看護部	
17	黃南翼	Mrs. HUANG NAN YI	医療視察団	55.11.10 ~ 55.11.18	国立ガンセンター他	転 勤	
18	鍾斌	Mrs. ZHONG SHU BING	放射線科	56.3.5 ~ 56.7.13	国立ガンセンター	放射線治療室	
19	李恩生	Mr. LI EN SHEN	内 科	56.2.26 ~ 55.9.3	病院管理研究所	病歴室	
20	龍風飛	Mrs. YU XIU ZHANG	麻 酔 科	56.2.26 ~ 56.9.3	国立病院医療センター	麻酔科	
21	千秀章	Mrs. YU XIU ZHANG	内 科	56.3.21 ~ 56.10.3	国立循環器病センター	中国人リハビリ	
22	閻穎梅	Mrs. WEN YING MEI	内 科	56.3.21 ~ 56.10.3	国立循環器病センター	中国人リハビリ	
23	楊興元	Mr. YANG XING YUAN	内 科	56.3.21 56.10.3	国立循環器病センター	心臓内科	
24	張李倫	Mrs. ZHANG JI LUN	腎 不 全	56.11.8 ~ 56.12.2	腎研究会	腎臓内科	
25	千方房	Mr. YU FANG LIAN	結核対策	56.6.12 ~ 56.10.20	結核研究所	転 勤	

番号	氏名	(英文)	研修科目	研修期間	受入れ先	帰国後の配属先	備考
26	昭55 金恩源	Mr. JIN EN YUAN	薬理学	56. 4. 24～56. 10. 26	千葉大学	中西医結合室	
27	昭55 黄書琴	Mrs. HUANG SHU QIN	内科	56. 4. 24～56. 10. 26	千葉大学	転勤	
28	昭55 王亮華	Mr. WANG YU HUA	外科	56. 4. 24～56. 10. 26	千葉大学	転勤	
29	昭55 張光鈞	Mr. ZHANG GUANG PO	整形外科	56. 4. 24～56. 10. 26	千葉大学	骨傷科	
30	昭55 劉維	Mr. LIU WEI	整形外科	56. 4. 24～56. 10. 26	千葉大学	骨傷科	
31	昭55 張書云	Mr. ZHANG SHU YUN	形成外科	56. 4. 24～56. 10. 26	千葉大学	骨傷科	
32	昭55 魏殿純	Mr. WEI DIAN CHUN	耳鼻咽喉科	56. 4. 24～56. 10. 26	千葉大学	退職	
33	昭55 劉文鳶	Mrs. LIU WEN YUAN	口腔内科	56. 4. 24～56. 10. 26	東京医科歯科大学	転勤	
34	昭56 張兆權	Mr. ZHANG ZHAO QUAN	内科	57. 3. 17～57. 9. 16	国立病院医療センター	腎臓内科	
35	昭56 張書香	Mrs. ZHANG SHU XIANG	神経内科	57. 3. 17～57. 9. 16	千葉大学	神経内科	
36	昭56 宝珍	Mrs. PANG BAO ZHEN	内科	57. 3. 17～57. 9. 16	国立病院医療センター	腎臓内科	
37	昭56 臧本慎	Mrs. ZANG SHEN	内科	57. 3. 17～57. 9. 16	国立ガンセンター	中医肺脾科	
38	昭56 支啓華	Mr. ZHI QI HUA	心臓外科	57. 3. 17～57. 9. 16	国立循環器病センター	心臓外科	
39	昭56 唐岳峰	Mr. TANG YUE FUNG	心臓外科	57. 3. 17～57. 9. 16	国立循環器病センター	心臓外科	
40	昭56 許広芬	Mrs. XU GUANG FEN	麻酔科	57. 3. 17～57. 9. 16	国立循環器病センター	麻酔科	
41	昭56 張慧賢	Mrs. ZHANG HUI XIAN	産婦人科	57. 3. 17～57. 9. 16	千葉大学	中医婦人科	
42	昭56 沈懷其	Mrs. SHEN HUAI QI	眼科	57. 3. 17～57. 9. 16	千葉大学	眼科	
43	昭56 段学連	Mrs. DUAN XUE LIAN	眼科	57. 3. 17～57. 9. 16	千葉大学	西医眼科	
44	昭56 張秉坤	Mrs. ZHANG BING KUN	小児科	57. 3. 17～57. 9. 16	国立小児病院	予防保健科	
45	昭56 白杰	Mrs. BAI JIE	針灸	57. 3. 17～57. 9. 16	国立病院医療センター	外国人外来部	
46	昭56 逯一光	Mr. BU YI GUANG	MEDICAL PATTERN RECOGNITION	57. 3. 17～58. 3. 17	大阪大学	転勤	
47	昭56 卞志强	Mr. BIAN ZHI QIANG	病院管理	57. 3. 17～57. 9. 16	病院管理研究所	中国人専門家室	
48	昭56 陳宝禾	Mrs. CHEN BAO HE	内科	57. 3. 17～57. 9. 16	東京医科歯科大学	伝染病科	
49	昭56 郭庶英	Mrs. GUO SHU YING	細胞遺伝子学	57. 3. 17～57. 9. 16	東京医科歯科大学	院長事務室	
50	昭56 劉丕福	Mr. LIU PEI FU	放射線技術	57. 3. 17～57. 9. 16	国立ガンセンター	放射線腫瘍科	
51	昭56 貴長恩	Mr. GUICHANG EN	胎生学	57. 3. 17～58. 3. 17	東京医科歯科大学	転勤	
52	昭56 齊治家	Mr. CHI ZHI JIA	基礎生化学における代謝制御	57. 3. 17～57. 9. 16	千葉大学	転勤	

番号	氏名	(英文)	研修科目	研修期間	受入れ先	帰国後の配属先	備考
53	李家実	Mrs. LI JIA SHI	生薬の定性分析	57.3.17~57.9.16	千葉大学	転勤	
54	陳康年	Mr. CHEN KANG NIAN	臨床病理学	58.3.3~59.3.1	国立東京第二病院	転勤	
55	趙武述	Mr. ZHAN WU SHU	免疫化学	58.3.3~59.3.1	大阪市立大学	臨研免疫室	
56	齊上崇	Mr. QI SHANG LE	生化学	58.3.3~59.3.1	大阪市立大学	臨研生化学室	
57	王桂芝	Mrs. WANG GUI ZHI	脳波・筋電図記録	58.3.3~58.9.1	国立東京第二病院	機能検査科	
58	閻啓英	Mrs. YAN QI YING	腫瘍生物学	58.3.3~58.9.1	国立ガンセンター	球急室	
59	趙洪昌	Mr. ZHAO HUONG CHAN	胸部外科学	58.3.3~58.9.1	国立ガンセンター	胸部外科	
60	戴淑風	Mrs. DAI SHU FENG	高危険度の胎児新生児の監視	58.3.3~58.9.1	国立医療センター	転勤	
61	陳慶平	Mr. CHEN QING PING	消化器病学	58.3.3~58.9.1	国立医療センター	留学中	
62	左換宗	Mr. ZUO HUAN ZHONG	神経外科	58.3.3~58.9.1	国立医療センター	脳外科	
63	張玉珍	Mrs. ZHANG YU ZHEN	看護教育	58.3.3~58.9.1	看護教育センター	入院部	
64	俞唯民	Mrs. YU WEI MIN	小児科	58.3.3~58.9.1	国立小児病院	留学中	
65	干鳳春	Mr. YU FENG CHUN	心臓放射線診療学	58.3.3~58.9.1	国立循環器病センター	心臓外科	
66	傅福林	Mr. XUE FU LIN	肺機能のコンピュータ応用	58.3.3~58.9.1	千葉大学	呼吸器内科	
67	史載祥	Mr. SHI DAI XIANG	心臓学	58.3.3~58.9.1	千葉大学	中医内科	
68	賈振庚	Mr. JIA ZHEN GENG	一般外科	58.3.3~58.9.1	千葉大学	普通外科	
69	姜文郷	Mrs. JIANG WEN QING	心臓内科	58.3.3~58.9.1	東京医科歯科大学	外国人リハビリ科	
70	高保	Mrs. GAO YU	放射線診断	58.3.3~58.9.1	東京医科歯科大学	放射線診断科	
71	孫心銓	Mr. SUN XIN QUAN	眼科学	58.3.3~58.9.1	順天堂大学	眼科	
72	蕭恩	Mr. DONG EN WAN	消化器病理学	58.3.3~58.9.1	順天堂大学	消化器内科	
73	金敏琦	Mr. JIN MING QI	臨床血液学	58.3.3~58.9.1	群馬大学	血液科	
74	長珠	Mrs. FAN CHANG ZHU	放射線診断学	59.2.9~60.2.8	千葉大学	転勤	
75	劉德輝	Mr. LIU DE HUI	外科	59.2.9~59.8.8	千葉大学	普通外科	
76	趙世津	Mr. ZHAO SHI PING	薬物分析	59.2.9~59.8.8	千葉大学	臨研薬理室	
77	戴希真	Mrs. DAI SI ZHEN	内科・外科	59.2.9~59.4.17	千葉大学	消化器内科	
78	姜梅	Mrs. JIANG MEI	産婦人科	59.2.9~59.4.17	千葉大学	産婦人科	
79	林文華	Mr. LIN WEN HUA	肺ガン研究	59.2.9~59.4.17	千葉大学	呼吸器内科	

番号	氏名	(英文)	研修科目	研修期間	受入れ先	帰国後の配属先	備考
80	彭俊雲	Mr. PENG JUN YUN	解剖、産婦人科	59.2.9~60.2.8	東京医科歯科大学	臨研細胞生物室	
81	呂佩瑾	Mrs. LU PEI JIN	産婦人科	59.2.9~59.8.8	東京医科歯科大学	産婦人科	
82	陳桂磁	Mrs. CHEN GUI ZI	外科	59.2.9~59.8.8	東京医科歯科大学	普通外科	
83	周舒	Mrs. CHOU SHU	生理学	59.2.9~59.4.17	順天堂大学	臨研所長	
84	王国相	Mr. WANG GUO XIANG	神経内科	59.2.9~59.8.8	国立病院医療センター	神経内科	
85	姜節良	Mr. JIANG JIE LIANG	神経外科	59.2.9~59.8.8	国立病院医療センター	脳外科	
86	陳淑華	Mrs. CHEN SHU HUA	臨床薬理	59.2.9~59.8.8	国立病院医療センター	臨研薬物薬理科	
87	謝大鶴	Mr. XIU DA HE	臨床病理	59.2.9~60.2.8	筑波大学	病理科	
88	王又孚	Mrs. WANG YOU FU	耳鼻咽喉	59.2.9~59.8.8	国立ガンセンター	転勤	
89	文慶成	Mr. WEN QING CHENG	生化学	59.2.9~59.8.8	国立ガンセンター	転勤	
90	蔣立才	Mr. JIANG LI CAI	リハビリテーション	59.2.9~59.4.17	国立身障者リハビリ	物理治療科	
91	劉伝淑	Mrs. LIU CHUAN SHU	放射線医学	59.2.9~59.8.8	群馬大学	核医学科	
92	馬歩成	Mr. MA BU CHANG	臨床核医学	59.2.9~60.2.8	国立循環器病センター	核医学科	
93	強瑞春	Mr. QIANG RUI CHUN	心血管内科	59.2.9~59.8.8	国立循環器病センター	転勤	
94	張尔旭	Mr. ZHANG XU ER	口腔外科	60.1.30~60.7.31	東京医科歯科大学	歯科	
95	鄭豊任	Mr. DENG FENG REN	脳外科	60.1.30~60.7.31	国立病院医療センター	脳外科	
96	吳東海	Mr. WU DONG HAL	免疫学	60.1.30~60.7.31	国立病院医療センター	普通内科	
97	徐参	Mr. XU CAN	皮膚科	60.1.30~60.7.31	東京医科歯科大学	皮膚科	
98	周湘	Mrs. ZHOU XIANG	小児内科(腎臓)	60.1.30~60.7.31	国立小児病院	小児科	
99	李英	Mrs. LI YI	小児内科(腎臓)	60.1.30~60.7.31	神戸大学	小児科	
100	葉智文	Mrs. YIE CHI WEN	神経生理	60.1.30~60.7.31	千葉大学	臨研生理病理室	
101	孫博理	Mr. SUN PO LI	心臓内科	60.1.30~60.7.31	国立循環器病センター	心臓内科	
102	周宝玉	Mrs. ZHOU BAO YU	神経内科	60.1.30~60.7.31	国立循環器病センター	神経内科	
103	張一紅	Mrs. ZHANG YI HOND	内科免疫	60.1.30~60.7.31	金沢大学	転勤	
104	剛勇	Mr. GANG YONG	内科	60.1.30~60.7.31	国立ガンセンター	内分泌科	
105	李忠実	Mr. LI ZHONG SHI	外科	60.1.30~60.7.31	東京大学	骨傷科	
106	林華	Mrs. LIN HUA	産婦人科	60.1.30~60.7.31	東京大学	産婦人科	

番号	氏名	(英文)	研修科目	研修期間	受入れ先	帰国後の配属先	備考
107	陳 颯 英	Mrs. CHEN SHA YING	小児内科	60.1.30~60.7.31	国立小児病院	小児科	
108	蔣 玉 英	Mrs. JIANG LING	血液学	60.1.30~60.7.31	金沢大学	血液学	
109	伍 銳 敏	Mr. WU RUI MIN	甲状腺診断	60.1.30~60.7.31	九州大学	中医外科	
110	楊 守 礼	Mr. YANG SHOU LI	アイントープ利用医学	60.1.30~60.7.31	千葉大学	臨床核医学科	
111	許 鴻 云	Mr. XUHONG YUN	内視鏡・伝染病学	60.1.30~60.7.31	京都大学	伝染病科	
112	趙 敏	Mrs. ZHAO MIN	診療病理(肺)	60.1.30~60.7.31	順天堂大学	病理科	
113	楊 夢 蘭	Mrs. YANG MENG LAN	小児科	60.1.30~60.7.31	千葉大学	中医小児科	
114	任 華 名	Mrs. REN HUA MING	斜視と弱視・屈折学	61.2.27~61.8.31	千葉大学	転勤	
115	喬 付	Mr. QIAO FU	染色体研究・細胞遺伝学	61.2.27~61.8.31	帝京大学	臨研細胞生理室	
116	王 玉 山	Mr. WANG YU SHAN	皮膚外科・皮膚整形	61.2.27~61.8.31	東京医科歯科大学	皮膚科	
117	鄭 之 剛	Mr. ZHENG ZHI GANG	心臓内科の臨床(CCU)	61.2.27~61.8.31	東京女子医大	心臓内科	
118	麻 柔	Mr. MA ROU	造血管細胞培養(CFU-MIN)	61.2.27~61.8.31	国立循環器病センター	血液科	
119	羅 進 軍	Mr. LUO JIN JUN	神経介質・神経生化	61.2.27~61.8.31	東京大学	日本留学	
120	史 滢 瑤	Mrs. SHI QING YAO	婦人科肺癌(卵巣ガンの早期診断)	61.2.27~61.8.31	千葉大学	産婦人科	
121	許 広 実	Mrs. XU GUANG SHI	心機能検査(負荷心電図)	61.2.27~61.8.31	国立ガンセンター	心臓内科	
122	李 広 仁	Mr. LI GUANG REN	冠状動脈バイパス手術・弁膜移植術	61.2.27~61.8.31	国立循環器病センター	心臓内科	
123	張 嵐	Mr. ZHANG LAN	消化器内視鏡	61.2.27~61.8.31	千葉大学	消化器内科	
124	陳 梅 鈴	Mrs. CHEN MEI LING	緑内障の治療と診断	61.2.27~61.8.31	東京大学	眼科	
125	韓 家 康	Mr. HAN JIA KANG	QUANTITATIVE DIAGNOSIS MEDICAL INFORM	61.2.27~61.8.31	東京大学	臨研生物物理室	
126	丁 守 勤	Mr. DING SHOU QIN	歯の金属焼付ポーセラレンの理論と実際	61.2.27~61.8.31	東京医科歯科大学	歯科	
127	姜 濯 云	Mrs. JIANG CUI YUN	酵素検査の実験と生化学実験	61.2.27~61.8.31	東京医科歯科大学	検査科	
128	馮 幼 倫	Mrs. FENG YOU LUN	手術室の技術・管理方法について	61.2.27~61.8.31	国立病院医療センター	手術室	
129	翟 麗	Mrs. ZHAI LI	人工透析	61.2.27~61.8.31	国立病院医療センター	看護部	
130	蘇 昌 華	Mrs. SU CHANG HUA	病歴管理・医療統計	61.2.27~61.8.31	病院管理研究所	病歴室	
131	邱 妖	Mr. QIU YUE	医療におけるコンピューターの活用方法・知識	61.2.27~61.8.31	東京大学	計算機室	
132	張 鉄 忠	Mr. ZHANG TIE ZHONG	血液流変学	61.2.27~61.8.31	富山医科薬科大学	中医心腎科	
133	胡 佩 珍	Mrs. HU PEI ZHEN	老人病に於ける内科及び免疫の診断治療	61.2.27~61.8.31	富山医科薬科大学	中医老人病科	

番号	氏名	(英文)	研究科目	研修期間	受入れ先	帰国後の配属先	備考
134	胡瑞華	Mrs. HU RUI HUA	緑内障に対するレーザー治療と顕微鏡手術	62.2.25~62.8.26	東京大学	眼科	
135	王克立	Mr. WANG KE LI	臨床流行性疾病統計分析	62.2.25~62.8.26	東京大学	病歴室	
136	閻強	Mr. YAN QIANG	臨床酵素学・臨床生化学検査	62.2.25~62.8.26	国立病院医療センター	検査科	
137	劉紅星	Mr. LIU HONG XIN	生物薬剤学・新薬物のデザイン	62.2.25~62.8.26	富山医科薬科大学	薬剤部	
138	柴枝楠	Mr. CHAI ZHI NAN	循環系薬生法の進歩及び各種モニター技術	62.2.25~62.8.26	日本医科大学	臨研生理学室	
139	魏鳳珍	Mrs. WEI FENG ZHEN	薬物の新しい剤形研究経路及び試験方法	62.2.25~62.8.26	富山医科薬科大学	薬剤部	
140	王正康	Mr. WANG ZHENG KANG	大腸ガンの診断及び治療など	62.2.25~62.8.26	東京医科歯科大学	普通外科	
141	汪農	Mrs. WANG CHEN	電子顕微鏡による皮膚科の応用	62.2.25~62.8.26	日本大学	皮膚科	
142	袁正義	Mr. YUAN ZHENG YI	腎臓病の診断と治療	62.2.25~62.8.26	東京医科歯科大学	腎臓内科	
143	高伯華	Mr. GAO PO HUA	麻酔中のモニタリング	62.2.25~62.8.26	千葉大学	麻酔科	
144	佟丙	Mrs. TONG QIAN	術中照射・子宮ガンのアフターローディング照射	62.2.25~62.8.26	国立病院医療センター	放射線治療科	
145	張偉	Mr. ZHANG WEI	冠状動脈疾患の外科的治療	62.2.25~62.8.26	国立循環器病センター	心臓外科	
146	呉佳台	Mrs. WU GUI YI	免疫疾患抗体の検出法	62.2.25~62.8.26	大阪大学	普通内科	
147	楊維稼	Mr. YANG WEI JIA	現代分析機器とコンピュータによる漢方の研究応用	62.2.25~62.8.26	富山医科薬科大学	臨床研究所	
148	尹広大	Mr. YIN GUANG DA	電気生の技術	62.2.25~62.8.26	千葉大学	臨床研究所	
149	李錦潭	Mrs. LI JIN PING	心臓内科集中治療-CCU	62.2.25~62.8.26	国立循環器病センター	心臓内科	
150	張小伯	Mr. ZHANG XIAO PO	臨床・耳軟骨の解剖	62.2.25~62.8.26	東京大学	耳鼻咽喉科	
151	千在紅	Mrs. YU ZAI HONG	聴力学の検査と応用	62.2.25~62.8.26	東京大学	耳鼻咽喉科	
152	石矩	Mr. SHI JU	血液動力学・血液中枢神経介質の調整機構	62.2.25~62.8.26	千葉大学	臨研生理学	
153	梁一強	Mrs. LIANG YI QIANG	急性脳血管疾患後の四肢運動機能回復	62.2.25~62.8.26	東京大学	針灸科	
154	羅康利	Mr. LUO KANG LI	普通外科(腹部)に於けるB超音波の応用	63.3.1~63.8.31	千葉大学	普通外科	
155	範占明	Mr. FAN ZHAN MING	放射線診断及び選択性血管造影技術	63.3.1~63.8.31	東邦大学	放射線診断	
156	郭永慶	Mr. GUO YONG QING	気管支鏡による肺ガンの早期診断	63.3.1~63.8.31	国立ガンセンター	胸部外科	
157	肖丹	Mrs. XIAO DAN	検査を中心とした結合織疾患の診断と治療	63.3.1~63.8.31	東京大学	中医内科	
158	張宗芳	Mrs. ZHANG ZHONG FANG	婦人科に於けるB型超音波技術の応用	63.3.1~63.8.31	東京大学	中医婦人科	
159	白静貞	Mrs. BAI JING ZHEN	動脈血ガスの分析による呼吸不全の診断と応用	63.3.1~63.8.31	日本医科大学	救急室	
160	孫学立	Mrs. SUN XUE LI	リハビリテーションの診断・評価・治療	63.3.1~63.8.31	帝京大学	理学療法科	

番号	氏名	(英文)	研修科目	研修期間	受入れ先	帰国後の配属先	備考
161	周書義	Mrs. ZHOU SHU YI	カルテの質的管理・コンピューターによるカルテ管理	63.3.1~63.8.31	千葉大学	病歴室	
162	張小平	Mr. ZHANG XIAO PING	B型超音波による心臓疾患の診断	63.3.1~63.8.31	国立循環器病センター	機能検査科	
163	李林	Mr. LI LIN	肝臓病の臨床	63.3.1~63.8.31	順天堂大学	医務処	
164	王建新	Mr. WANG JIAN XIN	婦人科産婦病棟・胎盤と新生児の病理	63.3.1~63.8.31	東京大学	泌尿器科	
165	周良鴻	Mrs. ZHOU LIANG HONG	神経障害及び血管障害のリハビリテーション治療	63.3.1~63.8.31	千葉大学	産婦人科	
166	李国英	Mrs. LI GUO YING	生薬の薬理学的研究	63.3.1~63.8.31	富山医科薬科大学	薬剤科	
167	王梅芳	Mrs. WANG MEI FANG	生物医学図書及びインフォメーションの管理	63.3.1~63.8.31	慶応大学	図書館科	
168	唐勤天	Mr. TANG JIN TIAN	悪性腫瘍の原形照射治療	63.3.1~63.8.31	東京駒込病院	放射線治療	
169	薛予萌	Ms. XUE YU MENG	内視鏡による直腸疾患の診断と治療	63.3.1~63.8.31	東京女子医科大学	肛腸科	
170	李忠祥	Mr. LI ZHONG XIANG	病院経営管理に係る人事・財務・情報管理	63.3.1~63.8.31	病院管理研究所	薬剤科	
171	曾憲法	Mr. ZENG XIAN FA	病院経営管理に係る人事・財務・情報管理	63.3.1~63.8.31	病院管理研究所	外事処	
172	楊秉賢	Mr. YANG BING XIAN	病院経営管理に係る人事・財務・情報管理	63.3.1~63.8.31	病院管理研究所	副院長	
173	鮑新潮	Mr. BAO XIN CHAO	病院経営管理に係る人事・財務・情報管理	63.3.1~63.8.31	病院管理研究所	科学教育処	
174	楊志英	Mr. YANG ZHI YING	新製薬研究・生物薬剤利用度の研究	1.2.28~1.8.30	九州大学	薬剤科	
175	王倍	Mrs. WANG BEI BEI	脳血管と神経伝達物質	1.2.28~1.8.30	筑波大学	薬理科	
176	李曉賓	Mr. LI SHAO BIN	腫瘍の診断と治療	1.2.28~1.8.30	国立ガンセンター	中医腫瘍科	
177	王非	Mr. WANG FEI	心臓弁膜症の臨床の新動向	1.2.28~1.8.30	国立循環器病センター	心臓内科	
178	田燕	Mr. TIAN YAN CHU	肺ガンの外科治療	1.2.28~1.8.30	国立ガンセンター	胸防外科	
179	胡宗元	Mr. HU SONG YUAN	中止	1.2.28~1.8.30	中止		
180	崔超英	Mr. CUI CHAO YING	超音波心臓図診断	1.2.28~1.8.30	国立循環器病センター	心臓外科	
181	馬一	Mr. MA YI GAI	血液凝固実験検査の臨床応用	1.2.28~1.8.30	血液科		
182	石梅	Mrs. SHI MEI	小児遺伝代謝	1.2.28~1.8.30	日本大学	小児科	
183	李潔	Mrs. LI JIE	リン巴凝活素と免疫学的解析	1.2.28~1.8.30	九州大学	臨床研究所	
184	戴曉紅	Mrs. ZHANG XIAO HONG	消化器を主としての腹部超音波診断	1.2.28~1.8.30	自治医科大学	超音波診断室	
185	李曉平	Mr. LI XIAO PING	肝臓病の外科的治療	1.2.28~1.8.30	九州大学	普通外科	
186	趙靜波	Mr. ZHAO JING BO	糖尿病血管合併症の研究	1.2.28~1.8.30	千葉大学	病理科	
187	杜宏	Mr. DU HONG JU	多発性骨髄腫再不良の診断と治療	1.2.28~1.8.30	九州大学	中医病棟	

番号	氏名	(英文)	研 修 科 目	研 修 期 間	受 入 先	帰国後の配属先	備考
188昭63	吳 杰	Mrs. WU JIE	歯の治療と予防	1. 2. 28 ~ 1. 8. 30	九州大学	口腔科	
189昭63	劉 乃 波	Mrs. LIU NAI BO	泌尿と生殖系腫瘍の臨床治療・膀胱腫瘍予防	1. 2. 28 ~ 1. 8. 30	九州大学	泌尿器外科	
190昭63	陳 祖 業	Mr. CHEN ZU YE	科学研究面の行政管理	1. 2. 28 ~ 1. 8. 30	国立病院管理研究所	科学教育科	
191昭63	肖 中 強	Mr. XIAO ZHONG QIANG	病院管理	1. 2. 28 ~ 1. 8. 30	国立病院管理研究所	病院事務室	
192昭63	鄧 開 叔	Mr. DENG KAI SHU	病院管理	1. 2. 28 ~ 1. 8. 30	国立病院管理研究所	医務処	
193昭63	蔡 福 軍	Mr. CAI FU JUN	病院管理・通訳	1. 2. 28 ~ 1. 8. 30	国立病院管理研究所	外事処	

表-4 供与機材実績(主要機材)

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
	(呼吸内科)		
1-1	ネブライザー	チェスト	3個
-2	シリコンパッキン ネブライザー用	"	10個
-3	アンビュー方向弁 2.8×2.8cm	"	1個
-4	呼吸管 32mm ^φ	"	6個
-5	25mm ^φ	"	7個
-6	食道バルーン, 半径 1.8 長 18cm	"	50個
-7	食道バルーンチューブ 長100cm	"	330個
-8	金属性三方コック 955-3	"	4個
	(消化内科)		
2-1	ファイバースコープ CF-201	オリンパス	1台
-2	鉗子 (11種類)	"	1台
-3	細径大腸ファイバースコープ PCF-10	"	1台
-4	鉗子 (8種類)	"	1式
-5	バルーンカテーテル 5170	ボストン	1本
-6	ランプ	オリンパス	6個
-7	生検鉗子 FB-23K針付孔付	"	2本
-8	FB-24Q針付長径孔付	"	2本
-9	FB-24K "	"	2本
-10	造形チューブ PR-4Q 2本入	"	10箱
-11	" PR-9Q 先細り型単2本入	"	4箱
-12	" PR-10Q先細り型長2本入	"	4箱
-13	把接鉗子 FG-15L 三脚型	"	2本
-14	バルーンカテーテル 5111	ボストン	2本
-15	" 5112	"	2本
	(血液内科)		
3-1	マルチプレート MS-30240 50ヶ入	住友ペーク	2箱
	(腎内科)		
4-1	対物レンズ NCF plan Apo 10X	ニコン	1個

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
4-2	対物レンズ NCF plan Apo 20X	ニコン	個
-3	” ” ” 40X	”	個
-4	” ” ” 100X	”	個
-5	替刃 S-35 50枚入/ホルダー	サクラ	4ホルダー
-6	替刃式マイクロームセット 130A	”	1セット
	(必外科)		
5-1	心臓血管強湾針 W8556-5-0	松田	60本
	(普外科)		
6-1	暗視野コンデンサー BH-DC-0	オリンパス	1個
	(脳外科)		
7-1	血圧トランスジューサ 45362	三栄	2個
-2	カメラボディー OM-IN 35mm	オリンパス	1式
	フォーカシングスクリーン SM-25付		
-3	生検鉗子 FB-19C	”	1本
-4	” FB-21C	”	1本
-5	” FB-15C	”	1本
-6	細胞診ブラシ BA-8C	”	1本
-7	鋭匙	”	1本
-8	内視鏡吸引器 KV-2	”	1台
-9	針付生検鉗子 BF-2410N	町田	2本
-10	有窓生検鉗子 BF-2010H	”	2本
-11	内視鏡擦過針 DC-2010	”	1本
-12	内視鏡注射針	”	1本
-13	スモールキュレット SC-2010シングル	”	1本
-14	SC-2010Wダブル	”	1本
-15	首振りブラシ NB-2010	”	1本
	(心外科)		
8-1	心臓用特殊縫合糸 20mm丸	松田	11箱
	3/8-2-0 軀端針 10本入		

番 号	品 名 及 び 仕 様	メーカ-名	数 量
8 - 2	心臓用特殊縫合針 20mm丸	松 田	6 箱
	3 / 8 - 2 - 0 両端針 10本入		
- 3	スーパーセフティ気管内チューブ	松本内科	1 セット
	AN-104000-18~40 12種類		
- 4	ルートカニューラ No 15465 20本入	J. M. S	1 箱
- 5	" " "	"	1 箱
- 6	ダブルルーメンカニューラー 10本入	"	1 箱
	(脳 外 科)		
9 - 1	ディタッチャブルバルンカテーテル No 2	平田産業	1 セット
- 2	バルーンカテーテル No 9 クリップ付	"	1 本
- 3	" No 12 "	"	1 本
- 4	" No 15 "	"	1 本
- 5	" No 16 "	"	1 本
	(西 医 骨 科)		
10 - 1	深部オンレーションハンドピース 01-001-05	ミズホ	1 本
- 2	深部用カッター 01-001-16~20K	"	4 セット
- 3	改良型動脈止血器 A 01-440-01	"	1 セット
- 4	同上用止血帯 01-441-01~03	"	1 組
- 5	東北大式骨髄静脈造影針及骨生検器 01-650-01~08	"	1 セット
	(重 症 監 ・ 病 房)		
11 - 1	輸液ポンプ STC-503	テルモ	3 台
- 2	ポンプ用輸液セット TS-PA200L 50入	"	4 箱
	" 日盛付 TSPM2701	"	4 箱
- 3	イヤピースボックス JQ-410V	日本光電	1 個
- 4	イヤピース TL-410S	"	1 個
- 5	心電図入力カード 47224	三 栄	2 本
- 6	入力コード 4T501 / 47522	"	8 本
- 7	血圧トランスジューサ 45363	"	1 個
- 8	注入加圧バック ACS-222	"	1 個

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
11-9	電源コード	三栄	10本
-10	中心静脈圧測定セット 針なし B16525	八光	200個
-11	中心静脈圧測定セット 針付 B16535	〃	100個
-12	呼吸回路セット KM-0330	木村	9セット
-13	除菌フィルター KR-8820	〃	4個
	(麻酔科)		
12-1	バルブユニット EVA-900用	アイカ	3個
-2	コンセント 3P防雨型	ナショナル	50個
-3	拍動トランスジューサ 45259	三栄	1個
-4	トランスジューサ装置台 45050	〃	1台
-5	麻酔器用呼吸ピックアップ 45258	〃	1個
-6	指尖用脈拍ピックアップ 45261	〃	1個
-7	脳圧トランスジューサ ICT/b PVC-S	〃	1個
	(婦産科)		
14-1	記録紙 2T21用 5冊/1箱	三栄	16箱
	(小児科)		
15-1	ビリルビンアナライザー	エルマ	1台
-2	光線治療器用発光管 FL20BW-NU 4ヶ入	アトム	3箱
-3	小児採尿パック 100ヶ入	〃	20箱
-4	採血毛細管 D941-8-140 50本入	真興交易	1箱
-5	ヘマトクリット毛細管 100本入/12バイアル/1箱	池本理化	1箱
-6	ヘマトクリット毛細管 ヘパリン処理	〃	1箱
-7	ガラスキャピラリー WCP-OV-1701-M25	島津	1本
-8	〃 WCP-OV-1701-M50	〃	1本
-9	〃 WCP-PEG20M-M25	〃	1本
-10	〃 WCP-SE-54-M25	〃	1本
-11	翼付チューブ針 50ヶ入 20GL 21GL 21G 23G	アトム	8箱
-12	Y管付翼付チューブ針 50ヶ入 21G 22G 23G 27G	〃	4箱
-13	三方活栓, 固定型, ディスポ 50ヶ入	〃	5箱
-14	記録紙 V-801用 5ヶ入		9橋

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
15-15	喉頭鏡セット	アトム	1組
	(西医眼科)		
16-1	自動視野計 AP-340	興和	1台
-2	レンズメーター 1M-350C	ニディック	1台
-3	眼科用マイクロ強湾針 5mm逆角1/2, 10/0 10本入	松田	1箱
-4	眼科用マイクロ強湾針 5mm逆角3/8, 10/0 10本入	〃	1箱
-5	眼科用マイクロ強湾針 5mm逆角3/8, 8/0 10本入	〃	1箱
	(耳鼻咽喉科)		
17-1	スプレー SN-S P用	永島医科	5個
-2	ライフエイド人工蘇生装置 1005	高千穂交易	1台
-3	ポータブル除細動装置 TEC-7200K	日本光電	1式
	ND-723V. 725V. 727V各1付		
	(消耗品)		
	・記録紙×2箱		
	・使いすて電極×2セット		
	・スキン電極(NS-111U. 112U. 113U. 114U. 115U)×各1対		
	・Adhesive Collar×2セット		
	・カーディオクリーム×2セット		
	・使いすて電極コード×1		
	・通電ペースト×2セット付		
-4	ニューパック ポータブルタイプ EMR-053	日本メディコ	1セット
-5	ライフスコープ OEC-6201K バッテリーパック付	日本光電	1セット
	(消耗品)		
	・使いすて電極×2セット		
	・スキン電極(NS-111U. 112U. 115U)×各2対		
	・Adhesive Collar×2セット		
	・モニタリングコード×1		

番 号	品 名 及 び 仕 様	メーカ名	数 量
	・バッテリー(SUM-3)×3セット付		
18-6	輸液ポンプ P-300	アトム	1台
	・輸液セット(ボトル用20ケ/1箱)×15箱		
	・小児定量輸液セット(10ケ/1箱)×10箱付		
-7	神経診察用具セットG-176	ユフ精機	1セット
-8	ポータブル麻酔器 FO-20B	アコマ	1台
	(特別付属品)		
	・気化器(D-330F2)×1		
	・気管内用具セット(D-050-A)×1セット付		
-9	バックマスク式人工呼吸器	アイカ	1セット
	大人: No 870000		
	小児: No 860000		
	幼児: No 850000		
-10	救急用電池式吸引器 No 790013(レールダル社)	アイカ	1台
-11	全自動電子血圧計 1846 SXP	三栄	1台
	・記録紙 64955(10ケ/箱)×5箱付		
-12	電子聴診器 FS-203	桑原	2個
-13	酸素流量計 SS-302 加湿瓶付	新鋭工業	1個
-14	気管内麻酔器用品 Bセット	アイカ	1セット
-15	気管切開手術器械セット MIC-15832 木箱入		1セット
	(中医-肺脾A-11東)		
19-1	カメラボディ-OM-IN 35m/m	オリンパス	1式
	アダプター-A10-M2		
-2	供覧アタッチメント LS-10	"	1台
3	細胞診ブラシ BC-2J	"	10本
-4	洗滌チューブ PW-1L 2本入	"	5箱
-5	生検鉗子 FB-25K	"	2本
-6	ランプ 15V 150W	"	5個
	(中医, 心腎)		
20-1	インブーダンスプレチモグラフ AI-601G	日本光電	1台

番 号	品 名 及 び 仕 様	メーカ名	数 量
20 - 2	圧脈波トランスジューサ TF-601T	日本光電	1 個
- 3	脈波心音トランスジューサ TF-701T	"	1 個
- 4	心尖拍動/圧力波カプラ AK-650H	"	1 個
- 5	カプラ用アンプ AA-601H	"	1 個
- 6	PCGマイクロホン TA-601H	"	1 個
- 7	心音カプラ AS-650H	"	1 個
- 8	心音用アンプ AS-610H	"	1 個
	(病 理 科)		
21 - 1	顕微鏡 共覧装置付 BHS-313/BH ₂ -DO	オリンパス	1 式
- 2	生物顕微鏡 BHTU-312	"	5 箱
- 3	クライオン 2 本入	サクラ	1 個
- 4	サファトーム 30°	"	1 個
- 5	" 45°	"	1 個
- 6	" 60°	"	1 個
- 7	替刃 S-35 50 枚/ホルダーX10/箱	"	3 箱
- 8	ランプ UP-R用 100V 500W	"	4 個
	(検 査 科)		
22 - 1	自動希釈装置 AD-260	東亜医応	1 台
- 2	マイクロプレート板 120穴 V型	萱 垣	12 枚
- 3	記録紙 ADC-20 EX用	"	100 個
	(中 康)		
23 - 1	二方向バルブ P/U 2700	フクダ電子	1 個
- 2	マウスピース 901	"	5 個
- 3	電 極 ECG-5303用	日本光電	8 個
- 4	クリップ 4ヶ入	"	1 箱
	(電 教 室)		
24 - 1	レンズ 77CL-UP No. 1	ソニー	1 個
- 2	" " No. 2	"	1 個
- 3	" " No. 3	"	1 個

番 号	品 名 及 び 仕 様	メーカ名	数 量
24-4	広角レンズ 65MM F7.0	東京光学	1個
-5	長焦点レンズ 150MM F5.6	"	1個
-6	フィルター 65MM F7.6	"	1個
-7	"	"	1個
-8	フィルム箱 6×9cm	"	1個
-9	" 6×7cm	"	1個
-10	ランプ 100V 500W UP-R用	サクラ	2個
-11	カラホイプリンター 35mm×10m 緑	コニカ	3個
25-1	偏光ゼーマン原子吸光光度計 Z-8000	日立	1台
-2	マイクロピペット 10μl	"	2個
-3	" 20μl	"	2個
-4	" 50μl	"	1個
-5	チップ 10. 20. 50μl用 1000入/箱	"	6箱
-6	ヒューズ J 821030 5ヶ入	"	5袋
-7	" J 821026 5ヶ入	"	5袋
-8	ラバホース G152030 アセチレン用	"	5本
-9	" G152031 エア用	"	本
-10	ビニールチューブ F221020 9×15mm	"	1本
-11	ビニールホース F229010 8×12mm	"	2本
-12	キャピラリーチューブセット	"	2セット
	207-0160 5ヶ入		
-13	キャピラリーチューブセット	"	2セット
	170-0160 細 2ヶ入		
-14	アトマイザー 508-0146 Pt	"	1個
-15	ビニールチューブ F229008 5 ^φ 10m	"	1本
-16	チューブアッセンブリー	"	1個
	190-3327 アウト		
-17	チューブアッセンブリ	"	1個
	190-3328 イン		
-18	ビニールチューブ F229011 9 ^φ 10m	"	1本
-19	Oリング L 456110 5ヶ入	"	10袋
-20	" L 456113	"	10袋
-21	" L 456120 5ヶ入	"	10袋

番 号	品 名 及 び 仕 様	メーカ名	数 量
25 - 22	Oリング L456304	日 立	10 袋
- 23	" L456003 5ヶ入	"	10 袋
- 24	ホロカソードランプ 207-2022	"	1 個
- 25	コップ 325	小西医療	2 個
- 26	シャフト 319	"	2 本
- 27	十字カッター 320	"	2 個
- 28	粉碎機ヘッド 318	"	2 組
- 29	分注器 FH-100DP	ヒラサワ	4 本
- 30	測定電極 PEC-101C	東 洋	2 本
27 - 1	MG Stop BSX14-0028	東 芝	1 個
- 2	MGストッパー 929-9962	"	1 個
- 3	フットスイッチ	"	1 個
- 4	発光ダイオード GL-514	"	2 個
- 5	フォトランジスター PT-501	"	4 個
	(放射治療科)		
28 - 1	変速器付モーター CL4B24-U30	"	1 個
	(中央手術室)		
30 - 1	電動デルマトーム用替刃 8×2cm 10枚入	ミズホ	8 袋
- 2	メスホルダー GT-S ₂ U-CR-SM用	"	4 本
- 3	鉛板用コード "	"	4 本
- 4	鉛板	"	16 枚
	(中央供給室)		
31 - 1	樹脂 20ℓ	サクラ	3 ケ
- 2	インクパット 5ヶ入	"	2 箱
	(臨床免疫科)		
32 - 1	小型冷却遠心機 05PR-22	日 立	1 台
	・RT3Sローター		
	・チューブラック BLGRYE		
	・バランスー		

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
	ガラスチューブ(5. 10. 15. 50mm)		
32-2	メディカルフリーザー RS-M301	日立	1台
	(西医皮科)		
33-1	フリーザ BF-310	日本フリーザー	1台
	(中医眼科)		
34-1	非球面レンズ 14D. 20D. 30D	東京光学	1式
	(中医肺瘤科)		
35-1	顕微鏡 写真装置付	オリンパス	1式
	BHS-313/PM10-35AD-2		
36-1	D ₂ ランプホルダーランプ付 635-0946	日立	2個
-2	D ₂ ランプ 239-0354	"	2個
-3	ハロゲンランプ 557-0240	"	2個
-4	Wランプ 239-3018	"	2個
-5	ロットリングペン S250260	"	1本
-6	ペン 緑, 赤, 青 7mm 各10ケ	"	30個
-7	チャートペーパー 056-7301	"	10巻
-8	遠心管 50PCフタ付 10ケ入	"	10箱
-9	" 500 PA 4ケ入	"	3箱
-10	カードパック C18 8kg/10ケ入	WATERS	1箱
-11	" シリカ "	"	1箱
-12	セップパック C18 9kg/50ケ入	"	1箱
-13	" シリカ "	"	1箱
-14	フィルター HATE-016-100 100ケ入	"	1箱
-15	カラムシュガーパック 85188	"	1箱
-16	カラムマイクロホンモジュール E-125	"	1個
-17	" E-500	"	1個
-18	" E-1000	"	1個
-19	T字パッキン 003-1387小25入	日立	5箱
-20	" 003-1388大25入	"	2箱
-21	シリコンパッキン 003-1660 25入	"	10箱

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
36-22	S-カラム 003-0526	日立	8個
-23	レコーダーペン 緑, 赤, 青, 黒, 各25	"	100個
-24	カラムシュガーバック 85188	WATERS	1台
-25	単電極型膜電位固定用増巾器DPV-30K	三栄	1台
-26	微細電極用増巾器 DP2-16A	"	1台
-27	電気刺激装置 DPS-160B	"	1台
-28	微量電極用プローブ DP2-117	"	1個
-29	記録紙 QW60-2 60mm×20M	日本光電	2巻
-30	小型冷却遠心機 ローター付 05PR-22	日立	1台
-31	ローターアッセンブリ B.D.G4ケ入	"	3セット
-32	チューブラック BL.GR.YE.OR.4ケ入	"	1式
-33	自動注入器 IM-1	ナルシゲ	1台
-34	替刃式マイクロームホルダーセット No.240 No.130A	サクラ	1式
-35	標本ブロック加湿器 SMB-1	"	1台
-36	クライオン 2本/箱	"	4箱
-37	記録紙 QW210-10 ロール式 210mm×100M	日本光電	200巻
-38	対物レンズ 2X	ユニオン光学	1個
-39	器械戸棚 ST-312特型 ・外寸: 900×360×1500mm脚無 ・上段: SS製2枚戸, 鎌錠付 ・棚板: 自在式SS製 4枚付	大豊鋼器	1台

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
	(呼吸内科)		
1-1	カメラボディー OM-3	オリンパス	1ケ
-2	アダプター SM-2S	"	1ケ
-3	" SM-3S	"	1ケ
-4	" SM-4S	"	1ケ
-5	呼吸管 2.7cm 3-Way	チェスト	4ケ
-6	呼吸管 3.5cm Flow Volum	"	2ケ
-7	バルーン 25L	"	1ケ
-8	ヘットバンド型酸素カニューラ 50ケ入	日本ナディコ	1箱
-9	二方弁 保護キャップ付 50ケ入	インターノバ	2箱
-10	呼吸管 3.2cm LSO Flow Volume	チェスト	2ケ
-11	" 2.5cm "	"	2ケ
-12	空気袋 2-L Bag	"	2ケ
-13	サンプルバッグ 23.3×20.5cm	"	2ケ
-14	記録紙 0511-1244	日本電気三栄	20巻
-15	呼吸管 0424-3011	"	2ケ
-16	記録紙 PL-103 100枚/1冊	チェスト	50冊
-17	空気袋 18×1.8cm	"	10ケ
-19	" 黒色	"	6ケ
-20	三方弁 3Way Cock	"	2ケ
-21	四方弁 ISO Flow Cock	"	2ケ
	(小児科)		
-1	酸素濃度計 OX-30	アトム	1ケ
-2	カラム 3.2mm ^φ × 2m	島津	2ケ
	(消化器内科)		
-1	造影チューブ PR-4Q 2本入	オリンパス	3セット
-2	拡張用バルーン 5111	ポストン	1本
-3	" 5112	"	1本
-4	" 5312	"	1本
-5	" 5118	"	1本
-6	" 5170	"	1本

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
3-7	把持鉗子 FG-18Q	オリンパス	2本
	(内分泌科)		
4-1	超微量ピペット 0.01~0.02ml	エルマ	1本
-2	自動マイクロイージピペッタ 0.01ml	"	1本
	(皮膚科)		
5-1	マイクローム替刀 S-35 50枚入	サクラ	10個
	(心臓内科)		
6-1	心電図用胸部電極 45235	日本電気三栄	50個
-2	電極用ペースト 2本入 49482	"	10箱
-3	記録紙 50m/m×3M 0511-1158	"	100巻
-4	ディスプレイ電極 45352 250ヶ入	"	50箱
-5	乾電池 9V		20ヶ
-6	テープ電極 5030672	日本光電	10ヶ
-7	カテーテル 527-750	トノクラ	20本
-8	" 527-752	"	5本
-9	" 527-742	"	10本
-10	ワイヤー 502-548	"	10本
-11	" 502-541	"	10本
-12	" 502-541	"	10本
	(腎臓内科)		
7-1	静脈留置針 EV-17G×300mm	八光	50本
-2	血液回路 PKS-P1 24ヶ入	循研	3箱
-3	血液回路 PKS-N 24ヶ入	"	3箱
-4	血液ポンプ DKP-22	日機装	1式
-5	注射用フィルター 02 50ヶ入×4箱/組	ニプロ	1組
-6	" S "	ニプロ	1組
-7	透析装置用固定フレーム QH-02 2ヶ	ニプロ	5箱
-8	血液回路 N-Y624	日機装	50個
-9	透析器 ALF-16	"	50個

番 号	品 名 及 び 仕 様	メーカ名	数 量
7-10	透析器 ALC-16	日機装	50 個
- 11	" ALF-18	"	25 個
- 12	チューブカテーテル T-115 6本入		2 箱
	(神経内科)		
8-1	脳波用電極 45115C 10ケ入	日本電気三栄	5 箱
- 2	記録ペン 43572 5ケ入	"	4 箱
- 3	心電図用誘導コード 47348	"	3 本
- 4	脳波用スケール M-006	"	10 ケ
- 5	脳波用電極 45115C 10ケ入	"	10 箱
- 6	記録ペン 43572 5ケ入	"	2 箱
	(普通外科)		
9-1	マルチプレート 96F 8096F 50ケ入	住友ベーク	2 箱
- 2	マルチプレート 24MS-34240 50ケ入	"	2 箱
- 3	ディスポ3方活栓 4790867 50ケ入	日本光電	5 箱
	(心臓外科)		
10-1	記録紙 881H 10巻入	日本光電	3 箱
- 2	シアクソグリーン 10ケ入	"	10 箱
- 3	静脈穿刺針 EV-19G×300mm	八 光	125 ケ
- 4	電 池 HM-4N(5ケ/組)	日本光電	5 組
- 5	静脈穿刺針 EV ₂ -19G×50nl	八 光	250 ケ
- 6	翼付静脈注射針 21G-3/4	"	100 ケ
- 7	圧力監視測定管 TAK1560T	"	25 ケ
- 8	" TAK1712	"	25 ケ
- 9	加圧帯 ACS-222	"	2 ケ
- 10	心臓縫合糸 TA-31 10本入	松田医科	10 箱
- 11	" TA-32 10本入	"	10 箱
- 12	縫合糸デンキソンプラス 4-0	日本レダリー	10 箱
- 13	" " 3-0	"	10 箱
- 14	" クロミックカットグット 3-0	"	10 箱
- 15	" プレーンカットグット 3-0	"	10 箱

番 号	品 名 及 び 仕 様	メーカ-名	数 量
10 - 16	心臓縫合糸 TA - 9 10本入	松田医科	5箱
- 17	" TA - 10 "	"	5箱
- 18	" TA - 11 "	"	5箱
- 19	" TA - 8 "	"	5箱
- 20	" TA - 30 "	"	5箱
- 21	" TA - 14 "	"	5箱
	(胸部外科)		
11 - 1	静脈用穿刺針 18G - 300mm	アーガイル	50ケ
- 2	" 16G - 300mm	"	20ケ
	(脳外科)		
12 - 1	チタニウムクリップ鉗子 07-080-00	ミズホ	1本
- 2	" 07-084-00	"	1本
- 3	マイクロケリソン骨パンチ	"	1本
- 4	椎間板ヘルニア彫骨鉗子 02-096-00	"	1本
- 5	対物レンズ OB-300	オリンパス	1個
- 6	ランプ 15V150W	"	5個
- 7	深部柔軟性脳管 07-956-01	ミズホ	5個
- 8	" 07-956-02	"	5個
- 9	" 07-956-03	"	5個
- 10	脳用柔軟性管 07-165-00	"	10個
- 11	スプリング索引鉤針 07-191-01	"	5個
- 12	頭蓋骨切削用バー側面 07-731-03	"	30個
- 13	脳室カテーテル N - 1403	クリコート	10本
- 14	" N - 3101	"	10本
- 15	" N - 3106	"	10本
- 16	" N - 4234	"	10本
- 17	止血鉗子用差し換コード 07-780-03	ミズホ	10本
- 18	止血鉗子膝状筋無 07-780-11	"	5個
- 19	膝状下垂体バイポーラ鉗子	"	5本
- 20	万能ラミネクトミー開創器	"	1個
- 21	佐野式関節付動脈瘤クリップ鉗子	"	1本

番 号	品 名 及 び 仕 様	メーカ名	数 量
12-22	ハーデー型鼻鏡 07-907-02	ミズホ	1個
-23	マイクロケリソン上向 02-099-01	"	1個
	(麻酔科)		
13-1	血圧モニターリングキット TAK 1560 5ケ入	ゴールド	5箱
-3	クリッテフロー	"	5箱
-4	静脈穿刺針 21G	八光	50個
-5	" 19G	"	50個
-6	" EVS-19G-200mm	"	50個
-7	" EVS-21G-200mm	"	50個
-8	三方弁 85A23	"	50個
-9	三方弁 TS-WSR-1	テルモ	50個
-10	呼吸回路 120cm	泉工医科	5個
-11	麻酔用マスク 大 120cm	"	5個
-12	" 中 100cm	"	5個
-13	呼吸バック 3,000ℓ	"	5個
-14	" 1,000ℓ	"	5個
-15	気管内チューブ 5.0mm	"	5本
-16	" 6.0mm	"	5本
-17	" 6.5mm	"	5本
-18	" 7.0mm	"	5本
-19	" 7.5mm	"	5本
-20	" 8.0mm	"	5本
-21	" 8.5mm	"	5本
-22	誘導コード電極 47348	日本電気三栄	2個
-23	トランスジューサ 45362	"	1個
-24	" 45363	"	1個
	(産婦人科)		
14-1	発光管 FL20BW-NU	アトム	1箱
-2	気管カテーテル 2.5mm	"	10本
-3	" 3.0mm	"	10本
-4	" 4.0mm	"	10本

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
14-5	ディスポシリンジ 20cc 50本入	アトム	10箱
-6	" 50cc 25本入	"	10箱
	(眼科)		
15-1	自動巻戻し器 MD-4	日本光学	1個
-2	ポロライドフィルム T-778 60本入	ポロライド	15箱
-3	モータドライブカメラバック	興和	1個
-4	フィルムプロジェクター EP		1台
-5	ランプ EP用	"	10個
-6	ランプ BX-3V L30	(株)ナイツ	30個
-7	" BX-4V L29	"	40個
-8	パワーテーブル	日本光学	1台
-9	テーブルプレート	"	1個
-10	カメラボディ F3	"	1個
-11	ファインダー F3	"	1個
-12	データータイマ記録装置	"	1台
	(口腔科)		
16-1	ベースプレートワックス 12ヶ入	吉田	5箱
-2	歯根管拡張リーマー 6本入	"	5箱
-3	根管用Kファイル	"	5箱
-4	安全チェーン	"	5個
-5	FGカーバイトバー No. 170	"	50個
-6	" No. 171L	"	25ヶ
-7	" No. 57	"	50ヶ
-8	" No. 58	"	50ヶ
-9	" No. 57L	"	50ヶ
-10	" No. 1/2	"	50ヶ
-11	スチールバー CA1.005	"	25ヶ
-12	" CA1.010	"	15ヶ
-13	" CA1.018	"	30ヶ
-14	" CA1.016	"	30ヶ
-15	" CA2.008	"	30ヶ

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
16-16	スチールパー CA2.010	吉田	30ケ
-17	" CA2.014	"	30ケ
-18	真空攪拌機容器用密閉パッキン	"	2ケ
-19	モデルトリマー用研磨円板	"	2ケ
-20	石膏用鋸歯	"	20ケ
-21	樹脂容器(真空攪拌器用)	"	2ケ
-22	噴砂研磨機用ノズル	"	120ケ
-23	発振管	"	1ケ
-24	シボ用エンジンベルト	"	30ケ
-25	エンドメイト用薬液カプセル	"	5ケ
-26	インサートビニールチューブ 0.6×21mm	"	50ケ
-27	" 0.6×25mm	"	50ケ
-28	マトリックスリテーナーT	"	10ケ
-29	" T・J	"	10ケ
-30	" A 100入	"	5箱
-31	" B "	"	5箱
-32	" C "	"	5箱
-33	" D "	"	5箱
-34	" E "	"	5箱
-35	" F "	"	5箱
-36	" G "	"	5箱
-37	" H "	"	5箱
	(集中治療室)		
17-1	接続線 CP-500用	フクダ	1個
-2	除細電極板 TE-57	"	1個
-3	四肢電極 TE-31 4ケ入	"	1箱
-4	胸部電極 TE-01 6ケ入	"	1箱
-5	電熱ペン OH-02F	"	1箱
-6	呼吸バック 5ℓ	アイカ	2個
-7	酸素マスク No.3	"	2個
-8	チムニーカテーテル Y&L 10本入	"	2箱
-10	肢体接続ハサミ TE-38 4ケ入	フクダ	1箱

番 号	品 名 及 び 仕 様	メーカ-名	数 量
17 - 11	電熱ペン OH-13	フクダ	2 個
	(重病監視看護)		
18 - 1	中心静脈圧測定装置針付	八 光	100 個
- 2	送信機用アンテナ 2 F 21 B用	日本電気三栄	10 個
- 3	電 極 47502	"	3 個
- 4	静脈穿刺針 18 G 2 1/2	八 光	50 本
- 5	トロカール 8 F	"	25 本
- 6	ラウンドチップ 4 F	"	100 個
- 7	" 5 F	"	100 個
	(核医学科)		
19 - 2	GM管 GM-5004	アカロ	2 本
- 3	" GM-H-5001V	"	1 本
	(放射線診断科)		
20 - 1	ポラロイドフィルム T-667 40本入	ポラロイド	50 箱
- 2	X線フィルム 8×10 MI-NC 100 枚	フ ジ	20 箱
- 3	" 14×17 MI-NC 100 枚	"	20 箱
- 4	" 14×14 MI-NC 100 枚	"	25 箱
- 5	" 10×12 MI-NC 100 枚	"	50 箱
- 6	カセットパスボックス B型 0-23	東 芝	2 個
- 7	X線管球 DRX-2133 GC	"	1 本
	(放射線治療科)		
21 - 1	X線グリッド FFD 130 cm	東 芝	1 個
- 2	モーター ABD 120-01	"	2 個
- 3	モーター DC 24V	"	2 個
- 4	頭部固定用具	"	2 式
	(KF1/KF2/ZF1/H20コック)		
- 5	X線フィルム 14×14 XTL-5	フ ジ	10 箱
- 6	" 14×17 "	"	10 箱

番 号	品 名 及 び 仕 様	メーカ-名	数 量
	(超 音 波 診 断 科)		
22-1	コンベックスプローブ PVE-350M	東 芝	1 個
- 2	” PVE-382M	”	1 個
- 3	マルチフォーマットカメラ	”	1 個
- 4	参考信号ユニット用ケーブル/電極	”	2 式
- 5	ポラロイドカメラ	”	1 個
- 6	スチールカメラユニット CS-60A	”	1 個
- 7	ポラロイドフィルム T-667	ポラロイド	1 箱
- 8	リニア電子プローブ PLE-505S	東 芝	1 個
- 9	” PLF-705S	”	1 個
- 20	” PSE-50H	”	1 個
- 21	” PSH-25H	”	1 個
- 22	センタープローブ ASU-32-3	アロカ	1 個
- 23	ラインスキャンペーパー 7772 12ヶ入	東 芝	1 個
- 24	セクタ電子プローブ PSA-24A	”	1 個
- 25	ポラロイドフィルム T-778 60入	ポラロイド	13 箱
	(病 理 科)		
23-1	フィルターカートリッジ	ヤマト	5 個
- 2	鋸の刃 01-001-08 30mm	ミスホ	4 個
- 3	01-001-09 40mm	”	2 個
- 4	01-001-10 50mm	”	2 個
- 5	硝子バット 500ml RSP-50用	サクラ	8 個
- 6	樹脂 B-10Y用 3kg入	ヤマト	10 袋
- 7	マイクローム替刃 C-35 20枚/10ヶ入	サクラ	2 箱
- 8	” S-35 50枚/10ヶ入	”	2 箱
- 9	マイクロームホルダーセット 130C-S	”	3 箱
- 10	” 240W	”	3 箱
- 11	トリミングハンドル F80	”	3 個
- 12	脳刃解剖用共用ハンドル F-100	”	3 個
- 13	硝子バント VRX-23用	”	2 個
- 14	パラフィン槽	”	1 個
- 15	鋸の刃固定用ネジ	”	2 個

番 号	品 名 及 び 仕 様	メーカ名	数 量
23 - 16	ボイラー用洗剤 B-10Y用	ヤマト	10 個
- 17	マイクロームホルダーセット 130-S	サクラ	1 箱
- 18	硝子バット VRX-23用	"	4 個
- 19	寒冷砕 7000枚入	"	1 箱
- 20	ランプ 100V 500W UP-R	"	6 個
- 21	ランプ 12V 100W HAL-L	オリンパス	10 個
- 22	" 6V 20W HAL	"	10 個
- 23	" 6V 10W JF	"	10 個
	(骨 外 科)		
25 - 1	渡辺式関節鏡用外・管	神谷量産	1 本
- 2	生検用ハサミ (21号用)	"	1 本
- 3	メス (")	"	1 本
- 4	手術顕微鏡用カメラ及アダプター (OM-1M) (OME-PT35-B-W)	オリンパス	1 式
	(リハビリテーション機器)		
26 - 1	股四頭筋訓練器 SPR-225	酒月医療	1 台
- 2	同上用角ネジ及軸受	"	1 式
- 3	・引用頸装具 OL-1F	OG技研	2 個
- 4	・引用胸装具 OL-1K	"	2 個
- 5	・引用腰装具 OL-1M	"	2 個
	(薬 剤 科)		
27 - 1	電解コンデンサー 100MF125VAC	サンヨ	3 個
- 2	冷却水循環装置 BC-51	日 立	1 台
- 3	フローモニタ 190-0343	"	1 台
- 4	ドレインポット 190-0342	"	1 個
- 5	サーマルヘッド 651-6020	"	1 個
- 6	パイロットキューベット 10ケ入	"	2 箱
- 7	リングセット 4ケ入	"	1 箱
- 8	卓上記録計	"	1 台
- 9	光温度制御は付属装置 180-0341	"	1 台

番 号	品 名 及 び 仕 様	メ ー カ ー 名	数 量
27-10	高温バーナーヘッド 190-0103	日 立	1 台
- 11	オートサンプラー 190-0123	"	1 台
- 12	水蒸化物発生装置 HFS-2	"	1 台
- 13	サイレントコンプレッサー SC-72	"	1 台
- 14	圧力調整器 アセチレン用	"	1 個
- 15	" N ₂ O用	"	1 個
- 16	" Ar	"	1 個
- 17	" H ₂ 用	"	1 個
- 18	マイクロサンプリングキット 180-0410	"	1 箱
- 19	キュベットセット筒型 180-7400 10ヶ入	"	1 箱
- 20	" カップ型 180-7402 5ヶ入	"	1 箱
- 21	ホロカソードランプ Fe	"	1 本
- 22	" Zn	"	1 本
- 23	分包紙薄口 薄口230巾 6巻入	スミレ	5 箱
- 24	" 厚口 厚口230巾 6巻入	"	5 箱
- 25	ミキサー 錨型フック	ダルトン	1 個
- 26	" ビーター	"	1 個
- 27	" 乳化ホイッパー	"	1 個
- 28	容器 No. 325	小西医療	1 個
- 29	粉砕機用ベルト No. 318	"	1 本
- 30	電動用硝子筒 fh-30dp	ヒラサワ	4 本
- 31	同上用内筒	"	
- 32	電動用硝子筒 fh-100dp	"	4 本
- 33	同上用内筒	"	
- 34	シリコン管	"	4 本
- 35	軟水検査試験紙	東 商	10 本
- 36	計量カップ AM-3用 100mℓ	日本精機	1 個
- 37	" AM-10用 1000mℓ	"	1 個
- 38	棚木砕車及台車 FYA-200用	サクラ	1 式
- 39	電動用硝子筒 fh-10ps	ヒラサワ	4 本
- 40	同上用内筒	"	
- 41	電動用硝子筒 fh-5ps	"	4 本
- 42	同上用内筒	"	

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
27-43	電動用硝子筒 fh-lps	ヒラサワ	4本
-44	同上用内筒	"	
-45	複合電極 9048-1128-00	堀場	2本
-46	Naイオン電極 9048-0025-00	"	3本
-47	Kイオン電極 9048-0026-00	"	3本
-48	Clイオン電極 9048-0027-00	"	5本
-49	半透膜 9048-0030-00	"	5本
-50	標準液 9048-0031-00	"	5箱
-51	希釈液 2ℓ×3 9048-0036-00	"	1箱
-52	B標準液 1ℓ×3 9048-0035-00	"	1箱
-53	ナト調整液 250ml 9048-0057-00	"	1箱
-54	電極 PCE 101/C-1T	東洋	2本
-55	ホロカソードランプ SE 001-6004	日立	1本
-56	" Mn 208-2019	"	1本
-57	" Cu 208-2011	"	1本
-58	" Mo 207-2005	"	1本
-59	" Co 139-3572	"	1本
-60	" Cr 208-2010	"	1本
-61	" As 207-2010	"	1本
-62	" Ba 207-2004	"	1本
-63	" Cd 208-2008	"	1本
-64	" Sr 139-3616	"	1本
-65	" Si 207-2012	"	1本
-66	" Na 207-2021	"	1本
	(看護部)		
28-1	ネプライザー 205	アトム	2台
-2	三電源吸引器 3ウェイ 700	新鋭工業	1台
-3	吸引器 S-359	大佑医科	2台
	(電化教室)		
29-1	レンズ 58mm F1.2	ニコン	1個
-2	" 28mm F3.5	"	1個

番 号	品 名 及 び 仕 様	メーカ名	数 量
29-3	レンズ マクロ 105mm F2.8	ニコン	1 個
- 4	遮光フード HN-9	"	1 個
- 5	レンズカバー CL-335 ^S	"	1 個
- 6	"	"	1 個
- 7	遮光フード	"	1 個
- 8	カラー複製用フィルム 35mm×10	フ ジ	5 箱
- 9	リモートコントローラー	松 下	1 個
- 10	ビデオテープ	ソニー	10 本
	"	"	10 本
	"	"	10 本
- 11	清浄用テープ	"	2 本
	(中 医 12 階 病 室)		
30-1	電 池 DEC-6201K用	NEC	30 個
- 2	ディスポ電極 45352 250ケ入	日本電気三栄	4 箱
- 3	ケラチンクリーム 100g 49482	"	5 個
	(センター手術室)		
31-2	メスホルダー用電線	ミズホ	20 M
- 3	対極板用電線	"	10 M
- 4	対極板用鉛板	"	10 枚
- 5	万能骨手術鋸用刃	"	10 枚
- 7	ディスポシリンジ 20cc 50ケ入	アトム	1 箱
- 8	輸液チューブ針 TS-A 200L	テルモ	50 本
- 9	ペネジェクトヘパソナトリウム VT-100H	"	100 本
- 10	胃腸縫合針 14号	ミズホ	100 ケ
- 11	消毒剤	サクラ	20 本
- 12	三方活栓 L	八 光	1000 ケ
	(医学工事所) p-9107 NK/01J		
32-1	多重撮影カメラ用フィルム収納ケース	横 河	1 個
- 2	電磁弁 PKW-10-27	三田理化	2 個
- 3	真空ポンプ FOA 24用	サクラ	1 台

番号	品名及び仕様	メーカー名	数量
32-5	薬剤槽 NEUHB用	オムロン	50個
-6	フィルムセット NEUHB用	"	20箱
-7	吸引瓶 3000cc	ミズホ	2本
-8	吸引瓶・水防止フタ	"	2個
-9	心電図誘導コード 47348	日本電気三栄	1本
-13	記録ペン TLS-100	日本光電	2個
-14	印字ヘッド	"	1個
-15	心電図用接続線 CP-50D	フクダ	1本
-16	トランスミッター 1422(9.10.11.12)	日本電気三栄	4個
-18	充電電池 12-5.7AH	"	1個
-19	リレー P/N KM-6	"	1個
-20	心電図入力コード 47502	"	2本
-21	体表面温度センサー 45355	"	1本
-22	電極クリップ 45271	"	5個
-23	真空ポンプ SVR10F	日立	1台
-24	モーター ABA-011-03	東芝	2個
-25	ランプ 12V5W A3172	"	10個
-27	CUP YZG-169	"	2個
-28	CONSOLF YWR-2090	"	1個
-30	ランプ 12V10W	"	10個
-31	フラットネスチェッカー用防水カバー	"	50個
-32	WASHER LOCK	"	10個
-33	ディスククリーナー	"	5個
-34	洗浄用テープ KC-1C	ソニー	3個
-36	Fメモリー PX73-06015	東芝	1個
-37	現像フィルター芯 VX-400用	コニカ	70個
-38	引渡机架 No.1460	"	5個
-39	現像机架 No.1460	"	5組
	(耳鼻咽喉科)		
33-1	電極 45055 3ヶ入	日本電気三栄	2箱
-2	記録紙 0511-1201 5ヶ入	"	3箱
-3	耳用骨削り器 19-203	第一医科	1個

番 号	品 名 及 び 仕 様	メーカ名	数 量
33-4	耳用骨削り器 19-201	第1医科	1個
-5	ドリル No.1117B	永島医科	1本
-6	ドリル No.1121D	"	1本
-7	ダイヤモンドドリル	"	1本
-8	記録ペン 0513-5045 10ヶ入	日本電気三栄	4箱
	(臨床研究所)		
34-1	連続分注器 No.20-105	池本理化	3個
-2	PHモーター M-8F	堀場	1台
-3	チューブ 500PA 4本	日立	5箱
-4	" 50PA 10本	"	5箱
-5	樹脂 B-10Y 3kg	ヤマト	20袋
-6	石英セル 10mm 557用 24入	日立	2箱
-7	Xe ランプ	"	2本
-8	石英セル 10mm 220用 2ヶ入	"	2箱
-9	チューブ 12PA 50本入	"	1箱
-10	Au ターゲット		1個
-11	金 線 1M	日立	4個
-12	ダウントランス 1KVA	"	1台
-13	マイクロームホルダーセット 240W	サクラ	1箱
-14	暗視野コンデンサー BH-DC-D	オリンパス	1個
-15	コンデンサー BH ₂ -AAC	"	1個
-16	描画装置 BH ₂ -DA	"	1個
-17	ランプ 12V 100W HAL-L	"	5個
-18	偏光装置 BH ₂ -KP	"	1個
-19	暗視野コンデンサー BH-DC-D	"	1個
-20	撮影用レンズ FK2.5X	"	1個
-21	" FK3.3X	"	1個
-22	" FK5X	"	1個
-23	" FK6.7X	"	1個
-24	Oリング 003-1783 25本入	"	1箱
-25	試験管ラック BL 4ヶ入	"	1組
-26	" YF 4ヶ入	"	1組

番 号	品 名 及 び 仕 様	メーカ名	数 量
34 - 27	試験管ラック GR 4ケ入	日 立	1 組
- 28	" OR 4ケ入	"	1 組
- 30	" K	"	2 組
- 31	" N 20ケ入	"	1 組
- 32	ベース A 2ケ入	"	2 箱
- 33	ベース B 2ケ入	"	2 箱
- 34	アダプター PM-ADF	オリンパス	1 個
- 35	マイクロームホルダーセット 130 C-S	サクラ	1 箱
- 36	" 130 A E	"	1 箱
- 37	蛍光灯 CM-41用	"	2 本
- 38	殺菌灯 CM-41用	"	2 本
- 39	チューブ 500 PA 4本入	日 立	5 箱
- 40	" 50 PA 10本入	"	4 箱
- 41	キャップ M-PP 20ケ入	"	2 箱
- 42	チューブ 5 ml	"	100 本
- 43	" 10 ml 50本入	"	2 箱
- 44	" 15 ml 50本入	"	2 箱
- 45	" 50 ml 10本入	"	3 箱
- 46	" 5 ml	"	30 本
- 47	カラム OPS-3056 655-2525	"	1 個
- 48	充填剤# 3056 10g入	"	1 個
- 49	アルミ座金 663-6096	"	1 個
- 50	温度ヒューズ組 663-1050	"	1 組
- 51	Oリング L 456405	"	10 個
- 52	ノズル 663-1065	"	2 個
- 53	点火コイル 663-6032	"	1 個
- 54	サイリスタ J 352052	"	20 個
- 55	" J 352038	"	2 個
- 56	T字ガスケット 003-1387	"	10 個